

資料編

I 全国学校・園庭ビオトープコンクール受賞校

No.	学校名	都道府県	学校	2021	2019	2017	2015	2013	2011	2009	2007	2005	2003	2001	1999	受賞回数
1	大口町立 大口西小学校	愛知	小学校		○	○	○	○	○	△	△		○	○		9
2	名古屋市長田小学校	愛知	小学校	○	○	○	○	○	○	○	△	○				9
3	甲賀市立 油日小学校	滋賀	小学校		◎	○	○	○	○	△	△					8
4	廿日市市立 宮園小学校	広島	小学校		○	○	○	◎	○	△	△					8
5	安曇野市立 豊科南小学校	長野	小学校					○	○	○	△		△	○	○	7
6	豊田市立 寿恵野小学校	愛知	小学校	○	○	○	○	◎	▲							7
7	所沢市立 清進小学校	埼玉	小学校		○	○	○	○	○				○			6
8	世田谷区立 等々力小学校	東京	小学校		○	◎			○	△	△					6
9	岡崎市立 奏梨小学校	愛知	小学校					◎	○	◎	▲	△		△		6
10	尼崎市立 潮小学校	兵庫	小学校	○		○	○	○	○	▲						6
11	宇美町立 宇美小学校	福岡	小学校		△			○	○	○	△	○				6
12	苫小牧市立 苫小牧東小学校	北海道	小学校			○	△	○	△		▲	▲				5
13	さいたま市立 日進小学校	埼玉	小学校			○	△	○	△		▲	▲	○	△		5
14	越谷市立 大袋東小学校	埼玉	小学校			○	○	○	△	▲	◎					5
15	小平市立 小平第六小学校	東京	小学校		△		○	○	△	▲						5
16	北区立 浮間小学校	東京	小学校			○	○	○	△	▲						5
17	可児市立 今渡南小学校	岐阜	小学校				△	○	○	△						5
18	湖西市立 知波田小学校	静岡	小学校	○	○	○						○				5
19	三田市立 本庄小学校	兵庫	小学校		○	○	○	○	○							5
20	西郷村立 米小学校	福島	小学校								▲	○	△	△		4
21	杉並区立 永福小学校	東京	小学校	○	○					▲						4
22	板橋区立 板橋第二小学校	東京	小学校	△	△	△		○								4
23	厚木市立 清水小学校	神奈川県	小学校			○	○	○	△							4
24	厚木市立 相川小学校	神奈川県	小学校	○	△	○										4
25	磐田市立 向笠小学校	静岡	小学校					○	○			◎	△			4
26	刈谷市立 亀城小学校	愛知	小学校		△	○	○	○								4
27	東海市立 船島小学校	愛知	小学校			○	○	○		◎	△					4
28	豊田市立 五ヶ丘東小学校	愛知	小学校	○	◎	◎	◎									4
29	千里みらい夢学園吹田市立 横山台小学校	大阪	小学校		△			○	○							4
30	尼崎市立 七松小学校	兵庫	小学校						○	○	△	△		△		4
31	大牟田市立 吉野小学校	福岡	小学校		○	○	○	○								4
32	福岡市立 巻坂南小学校	福岡	小学校						△		▲	▲	○			4
33	茨城県市立 南部小学校	山形	小学校		△						▲	▲				3
34	日立市立 大沼小学校	茨城	小学校	○	○	○										3
35	所沢市立 安松小学校	埼玉	小学校		◎		○									3
36	印西市立 小倉台小学校	千葉	小学校			○			○					△		3
37	千葉市立 越智小学校	千葉	小学校		○						△	△				3
38	(学)桐朋学園 桐朋学園小学校	東京	小学校	○	○	○										3
39	江東区立 越中島小学校	東京	小学校		○			○	○							3
40	世田谷区立 中野小学校	東京	小学校			○	○	△								3
41	横浜賀市立 武山小学校	神奈川県	小学校		△	△	○									3
42	川崎市立 下布田小学校	神奈川県	小学校		○			○	△							3
43	砺波市立 出町小学校	富山	小学校			○	○	○								3
44	松本市立 清水小学校	長野	小学校									◎	○	△		3
45	静岡市立 田町小学校	静岡	小学校						△		△		△			3
46	西尾市立 西尾小学校	愛知	小学校							▲	▲	△				3
47	豊田市立 上鷹見小学校	愛知	小学校	◎								◎	△			3
48	吹田市立 南山田小学校	大阪	小学校			○	△									3
49	大阪市立 茨田小学校	大阪	小学校						△	△	▲					3
50	八尾市立 彌川小学校	大阪	小学校	○	△	△										3
51	伊丹市立 瑞穂小学校	兵庫	小学校						△	△	△					3
52	広島市立 大林小学校	広島	小学校				△	○	△							3
53	石井町立 石井小学校	徳島	小学校	△	△				○							3
54	志免町立 志免東小学校	福岡	小学校				△	○	△							3
55	札幌市立 幌北小学校	北海道	小学校								▲	△				2
56	湯別町立 芭露小学校	北海道	小学校					○			△					2
57	気仙沼市立 面瀬小学校	宮城	小学校	○	○											2
58	仙台市立 東六番丁小学校	宮城	小学校				○							○		2
59	湖上市立 大久保小学校	秋田	小学校						△	△						2
60	ひたちなか市立 前渡小学校	茨城	小学校						△	△						2
61	牛久市立 神谷小学校	茨城	小学校						○		◎					2
62	潮来市立 延方小学校	茨城	小学校				△							○		2
63	安中市立 礎東小学校	群馬	小学校		△				△							2
64	伊勢崎市立 赤堀東小学校	群馬	小学校			○		○								2
65	さいたま市立 大砂土小学校	埼玉	小学校						△	△						2
66	滑川町立 宮前小学校	埼玉	小学校			○		○	△							2
67	久喜市立 久喜小学校	埼玉	小学校	○	○											2
68	上尾市立 大石北小学校	埼玉	小学校			○		○								2
69	川口市立 芝富士小学校	埼玉	小学校			○	○									2
70	入間市立 東金子小学校	埼玉	小学校			△	○									2
71	千葉市立 扇田小学校	千葉	小学校				○									2
72	流山市立 東深井小学校	千葉	小学校							△	▲					2
73	流山市立 流山北小学校	千葉	小学校							▲	△					2
74	江東区立 亀高小学校	東京	小学校		○	○										2
75	世田谷区立 旭小学校	東京	小学校				○	△								2
76	中野区立 沼袋小学校	東京	小学校							▲	▲					2
77	町田市立 鶴川第二小学校	東京	小学校							△	▲					2
78	日野市立 日野第六小学校	東京	小学校							△	▲					2
79	横浜市立 太尾小学校	神奈川県	小学校	○	○						▲	▲				2
80	川崎市立 岡上小学校	神奈川県	小学校								▲	▲				2
81	川崎市立 土橋小学校	神奈川県	小学校								▲	△				2
82	栗山町立 栗山小学校	神奈川県	小学校					△	△							2
83	五泉市立 五泉南小学校	新潟	小学校			△								△		2
84	坂井市立 鳴鹿小学校	福井	小学校								△	○				2
85	松本市立 源池小学校	長野	小学校										△	△		2
86	長野市立 緑内小学校	長野	小学校	△							▲					2
87	各務原市立 蘇原第二小学校	岐阜	小学校									○	○			2
88	高山市立 三枝小学校	岐阜	小学校							△		△				2
89	大垣市立 江東小学校	岐阜	小学校						○					△		2
90	大垣市立 小須小学校	岐阜	小学校									△		△		2
91	湖西市立 白須賀小学校	静岡	小学校							▲			△			2
92	静岡市立 松野小学校	静岡	小学校			○				△						2
93	磐田市立 竜洋東小学校	静岡	小学校				○								△	2
94	岡崎市立 大門小学校	愛知	小学校							▲	▲					2
95	岡崎市立 六ツ奥西部小学校	愛知	小学校					△		▲	▲					2
96	幸田町立 深溝小学校	愛知	小学校						△					○		2
97	幸田町立 豊坂小学校	愛知	小学校						△			△				2
98	瀬戸市立 掛川小学校	愛知	小学校	○	△											2
99	豊川市立 桜木小学校	愛知	小学校										◎	△		2
100	豊田市立 西広瀬小学校	愛知	小学校				○	○								2
101	名古屋市長治小学校	愛知	小学校							△	▲					2
102	津市立 育生小学校	三重	小学校								▲	○				2
103	近江八幡市立 老蘇小学校	滋賀	小学校							△	○					2
104	守山市立 物部小学校	滋賀	小学校				○	○								2
105	津市立 津川小学校	滋賀	小学校									△	○			2
106	京都市立 朱雀第三小学校	京都	小学校								▲	△				2
107	京都市立 朱雀第四小学校	京都	小学校								▲	△				2
108	京都市立 第四錦林小学校	京都	小学校			△					△	△				2
109	視覚川市立 池田小学校	大阪	小学校							▲	△					2
110	視覚川市立 高野小学校	大阪	小学校							◎	△					2
111	視覚川市立 田井小学校	大阪	小学校							▲	▲					2

II 全国の小学校へのアンケート内容

学校ビオトープの維持管理・活用法についての調査アンケート

このアンケートは、過去に「全国学校・園庭ビオトープコンクール」で複数回、賞を受賞された小学校への調査です。

ご協力よろしくお願いたします。

※学校名等を記入していただきますが、学校名等が特定できないように回答は数的に処理します。

1 貴校の学校ビオトープの基本的な情報についてお伺いします。

1.1 学校名を記入してください。

(例)〇〇市立△△小学校

回答を入力

1.2 ビオトープの設置年を記入してください。

西暦を半角数字でご記入ください。(例)2000年→2000 平成12年→2000

回答を入力

1.3 ビオトープの面積を、以下からお選びください。

- a. 50㎡以下
- b. 51~100㎡
- c. 101~500㎡
- d. 501~1000㎡
- e. 1001~5000㎡
- f. 5001~10000㎡
- g. 10001㎡以上
- h. 把握していない

1.4 ビオトープの位置を、以下からお選びください。

- a. 学校敷地内
- b. 学校敷地外
- c. 学校敷地内外にまたがっている
- d. 学校敷地内外に点在している
- e. その他: _____

1.5 ビオトープの構成要素を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 池
- b. 小川
- c. 樹林地
- d. 草地
- e. 湿地
- f. 沼地
- g. その他: _____

1.6 ビオトープの水源の種類を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 水道
- b. 用水路
- c. ため池
- d. 雨水
- e. 地下水
- f. 湧水
- g. なし
- h. その他: _____

2 ビオトープの維持管理についてお伺いします。

2.1 維持管理活動をおこなっていますか。

ここでの「維持管理活動」とは、草刈りなどの定期的におこなっているもののことです。

- a. おこなっている
- b. おこなっていない

2.1 で a を回答した方へ質問します。

2.1.a1 維持管理活動の内容を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 清掃
- b. 草刈り
- c. 外来種などの生物の駆除
- d. ビオトープの環境や活動の記録
- e. 学級通信・ブログなどでの広報
- f. その他: _____

2.1.a2 維持管理活動の頻度を、以下からお選びください。

- a. 週に1回以上
- b. 月に1回以上
- c. 3ヶ月に1回以上
- d. 6ヶ月に1回以上
- e. 1年に1回以上
- f. その他: _____

2.1 で b を選んだ方へ質問します。

2.1.b1 維持管理活動をおこなっていない主な理由を、以下からお選びください。

- a. 維持管理をする人がいない
- b. 維持管理をするお金がない
- c. 維持管理に必要なことがわからない
- d. 維持管理活動をしなくても維持できている
- e. その他: _____

2.2 維持管理を目的とした組織はありますか。

- a. ある
- b. 今後、組織する予定がある。
- c. ない

2.2 で a または b を回答した方へ質問します。

2.2.ab1 その組織の主体を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 児童
- b. 教職員
- c. PTA
- d. 自治会
- e. NPO
- f. 行政
- g. 個人有志
- h. その他: _____

2.2.ab2 維持管理活動に参加している方を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

上記(2.2.ab1)で選んだ「組織の主体」も選択してください。

- a. 児童
- b. 教職員
- c. PTA
- d. 自治会
- e. NPO
- f. 行政
- g. 個人有志
- h. その他: _____

2.2 で c を回答した方へ質問します。

2.2.c1 維持管理活動をおこなっている方を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 児童
- b. 教職員
- c. PTA
- d. 自治会
- e. NPO
- f. 行政
- g. 個人有志
- h. 維持管理活動をおこなっていない
- i. その他: _____

2.3 これまでの維持管理における課題点を、以下から 3 つまでお選びください。

- a. 水源の管理
- b. 生物の管理
- c. 財源の不足
- d. 人手の不足
- e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
- f. 専門知識の不足
- g. その他: _____

2.4 維持管理における工夫点がありましたら、ご記入ください。

回答を入力

3 ビオトープの活用状況についてお伺いします。

3.1 ビオトープを授業で活用していますか。

- a. 活用している
- b. 活用していない

3.1 で a を回答した方へ質問します。

3.1.a1 授業をおこなっている学年を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 1 年生
- b. 2 年生
- c. 3 年生
- d. 4 年生
- e. 5 年生
- f. 6 年生

3.1.a2 授業科目を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 総合的な学習の時間
- b. 生活
- c. 理科
- d. 国語
- e. 社会
- f. 算数
- g. 音楽
- h. 図画工作
- i. 家庭
- j. 体育
- k. 道徳
- l. 外国語活動
- m. その他: _____

3.1.a3 授業内での活用方法を、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 調査・観察
- b. 探検・遊び
- c. 表現・工作
- d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)
- e. 縦割り活動・異年齢集団活動
- f. その他: _____

3.2 地域活動・イベントに利用していますか。

- a. 利用している
- b. 利用していない

3.2 で a を回答した方へ質問します。

3.2.a1 地域活動・イベントの内容をご記入ください。

回答を入力

3.3 授業・地域活動・イベント以外の活用内容について、以下からお選びください。

複数の場合は、複数お選びください。

- a. 休み時間・放課後の遊びの場
- b. 児童の委員会活動の場
- c. 地域の方の憩いの場
- d. なし
- e. その他: _____

3.4 地域の方への開放の頻度を、以下からお選びください。

- a. 普段から開放している
- b. 地域活動・イベント時のみ開放している
- c. 開放していない

3.4 で a を回答した方へ質問します。

3.4.a1 地域の方の利用頻度について、以下からお選びください。

- a. 日常的に利用されている
- b. 地域活動・イベント時のみ利用されている
- c. 利用されていない
- d. 把握していない

Ⅲ 全国の小学校のアンケート結果

1.1 学校名を記入してください。	受賞回数	1.2 ビオトープの設置年を記入してください。	1.3 ビオトープの面積を、以下からお選びください。	1.4 ビオトープの位置を、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	9	2001	d. 501~1000㎡	a. 学校敷地内
名古屋市立豊田小学校	9	2003	h. 把握していない	a. 学校敷地内
甲賀市立油日小学校	8	2000	d. 501~1000㎡	a. 学校敷地内
甘日市立宮園小学校	8	2005	d. 501~1000㎡	a. 学校敷地内
豊田市立兼兼野小学校	7	2000	h. 把握していない	a. 学校敷地内
安曇野市立豊科南小学校	7	1975	h. 把握していない	d. 学校敷地内外に点在している
岡崎市立秦梨小学校	6	2000		c. 学校敷地内外にまたがっている
尼崎市立瀬小学校	6	2009	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
世田谷区立等々力小学校	6	2008	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
さいたま市立日進小学校	5	1999	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
さいたま市立今渡南小学校	5	2005	a. 50㎡以下	a. 学校敷地内
湖西市立知波田小学校	5	2001	d. 501~1000㎡	b. 学校敷地外
北区立浮間小学校	5	1972	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
吹田市立桃山台小学校	4		b. 51~100㎡	a. 学校敷地内
豊田市立五ヶ丘東小学校	4			a. 学校敷地内
西郷村立米小学校	4	2000	g. 10001㎡以上	a. 学校敷地内
東海市立船島小学校	4	2005	e. 1001~5000㎡	a. 学校敷地内
福岡市立香岐南小学校	4	2002	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
磐田市立向笠小学校	4	2003	h. 把握していない	a. 学校敷地内
杉並区立永福小学校	4	2012	d. 501~1000㎡	a. 学校敷地内
寒河江市立南都小学校	3	2005	e. 1001~5000㎡	b. 学校敷地外
日立市立大沼小学校	3	2005	d. 501~1000㎡	a. 学校敷地内
私立 桐朋学園小学校	3		c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
石井町 石井小学校	3		b. 51~100㎡	a. 学校敷地内
大阪市立茨田小学校	3	1998	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
千葉市立越智小学校	3	2001	c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
印西市立小倉台小学校	3	1991	a. 50㎡以下	a. 学校敷地内
豊田市立上鷹見小学校	3	2003	c. 101~500㎡	b. 学校敷地外
横須賀市立武山小学校	3	2015	a. 50㎡以下	a. 学校敷地内
静岡市立下布田小学校	3	2003	b. 51~100㎡	a. 学校敷地内
川崎市立西尾小学校	3	1990	h. 把握していない	c. 学校敷地内外にまたがっている
西尾市立西尾小学校	3		c. 101~500㎡	a. 学校敷地内
所沢市立安松小学校	3		h. 把握していない	a. 学校敷地内
				a. 学校敷地内

1.1 学校名を記入してください。	1.5 ビオトープの構成要素を、以下からお選びください。	1.6 ビオトープの水源の種類を、以下からお選びください。	2.1 維持管理活動をおこなっていますか。
大口町立大口西小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
名古屋市立豊田小学校	a. 池, b. 小川, d. 草地, 水田	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
甲賀市立油日小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地	e. 地下水	a. おこなっている
甘日市市立宮園小学校	a. 池, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地, f. 沼地	b. 地下水	a. おこなっている
豊田市立兼惠野小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
安曇野市立豊科南小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	b. 用水路	a. おこなっている
岡崎市立秦梨小学校	a. 池, e. 湿地	d. 雨水, f. 湧水	a. おこなっている
尼崎市立瀬小学校	a. 池, c. 樹林地, d. 草地	c. ため池, d. 雨水	a. おこなっている
世田谷区立等々力小学校	a. 池, c. 樹林地, e. 湿地	a. 水道	a. おこなっている
さいたま市立日進小学校	a. 池, c. 樹林地, d. 草地	a. 水道	b. おこなっていない
可児市立今渡南小学校	b. 小川, d. 草地	a. 水道	a. おこなっている
湖西市立知波田小学校	a. 池, b. 小川, e. 湿地	b. 用水路, f. 湧水	a. おこなっている
北区立浮間小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, 棚田	a. 水道, c. ため池	a. おこなっている
吹田市立桃山台小学校	a. 池	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
豊田市立五ヶ丘東小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地	a. 水道	a. おこなっている
西郷村立米小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
東海市立船島小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地, 井戸	f. 湧水	a. おこなっている
福岡市立香崎南小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
碧田市立向笠小学校	a. 池, d. 草地	b. 用水路, c. ため池, d. 雨水	a. おこなっている
杉並区立永福小学校	a. 池, b. 小川, d. 草地, 田	a. 水道, d. 雨水, e. 地下水	a. おこなっている
寒河江市立南部小学校	b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地, f. 沼地	b. 用水路	a. おこなっている
日立市立大沼小学校	a. 池, c. 樹林地, d. 草地	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
私立 桐阴学園小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	a. 水道, d. 雨水, 農機具・弁当箱洗浄の排水	a. おこなっている
石井町 石井小学校	a. 池, c. 樹林地, d. 草地	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
大塚市立茨田小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地, f. 沼地, 並木、	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
千葉市立越智小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
印西市立小倉台小学校	a. 池, d. 草地	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている
豊田市立上鷹見小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地, e. 湿地, f. 沼地	b. 用水路	a. おこなっている
横須賀市立武蔵山小学校	a. 池	c. ため池	b. おこなっていない
静岡市立田町小学校	a. 池, b. 小川, c. 樹林地, d. 草地	e. 地下水	a. おこなっている
川崎市立下布田小学校	b. 小川, d. 草地, e. 湿地, f. 沼地	b. 用水路	a. おこなっている
西尾市立西尾小学校	a. 池, e. 湿地	e. 地下水	a. おこなっている
所沢市立安松小学校	a. 池, c. 樹林地	b. おこなっていない	b. おこなっていない
	e. 湿地	a. 水道, d. 雨水	a. おこなっている

1.1 学校名を記入してください。	2.1.a1 維持管理活動の内容を、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	b. 草刈り, e. 学級通信・ブログなどの広報
名古屋市立豊田小学校	b. 草刈り
甲賀市立油日小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録
甘日市立宮園小学校	a. 清掃, b. 草刈り, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
豊田市立藤原野小学校	a. 清掃, b. 草刈り
安曇野市立豊科南小学校	a. 清掃, b. 草刈り
岡崎市立秦梨小学校	a. 清掃, c. 外来種などの生物の駆除, 取水口の清掃, 給水パイプの清掃
尼崎市立潮小学校	a. 清掃, b. 草刈り
世田谷区立等々力小学校	a. 清掃, c. 外来種などの生物の駆除, 総合的な学習の時間
さいたま市立日進小学校	a. 清掃
可見市立今渡南小学校	b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録
湖西市立知波田小学校	a. 清掃, b. 草刈り
北区立浮間小学校	a. 清掃
吹田市立桃山台小学校	b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
豊田市立五ヶ丘東小学校	b. 草刈り, d. ピオトーブの環境や活動の記録
西郷村立米小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
東海市立船島小学校	a. 清掃, b. 草刈り
福岡市立彦成南小学校	b. 草刈り
磐田市立向笠小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録
杉並区立永福小学校	b. 草刈り
寒河江市立南郷小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの設置
日立市立大沼小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
私立 桐朋学園小学校	a. 清掃, b. 草刈り
石井町 石井小学校	a. 清掃, b. 草刈り
大阪市立茨田小学校	a. 清掃, b. 草刈り
千葉市立越智小学校	a. 清掃, b. 草刈り, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
印西市立小倉台小学校	a. 清掃, b. 草刈り, e. 学級通信・ブログなどでの広報
豊田市立上鷹見小学校	b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, d. ピオトーブの環境や活動の記録, e. 学級通信・ブログなどでの広報
横須賀市立武山小学校	
静岡市立田町小学校	a. 清掃, b. 草刈り
川崎市立下布田小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, e. 学級通信・ブログなどでの広報
西尾市立西尾小学校	a. 清掃, b. 草刈り, c. 外来種などの生物の駆除, e. 学級通信・ブログなどでの広報
所沢市立安松小学校	b. 草刈り

1.1 学校名を記入してください。	2.1.a2 維持管理活動の頻度を、以下からお選びください。	2.1.b1 維持管理活動をおこなっていない主な理由を、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
名古屋市立豊田小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
甲賀市立油日小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
甘日市立宮園小学校	a. 週に1回以上	
豊田市立寿恵野小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
安曇野市立豊科南小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
岡崎市立桑梨小学校	d. 6ヶ月に1回以上	
尾崎市立湖小学校	d. 6ヶ月に1回以上	
世田谷区立等々力小学校	b. 月に1回以上	
さいたま市立日進小学校		c. 財源が不足しているため
可児市立今渡南小学校	a. 週に1回以上	
湖西市立知波田小学校	b. 月に1回以上	
北区立浮間小学校	b. 月に1回以上	
吹田市立桃山台小学校	b. 月に1回以上	
豊田市立五ヶ丘東小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
西郷村立米小学校	e. 1年に1回以上	
東海市立船島小学校	a. 週に1回以上	
福岡市立香岐南小学校	a. 週に1回以上	
磐田市立向笠小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
杉並区立永福小学校	b. 月に1回以上	
寒河江市立南都小学校	b. 月に1回以上	
日立市立大沼小学校	a. 週に1回以上	
私立 桐朋学園小学校	b. 月に1回以上	
石井町 石井小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
大阪市立茨田小学校	a. 週に1回以上	
千葉市立越智小学校	b. 月に1回以上	
印西市立小倉台小学校	b. 月に1回以上	
豊田市立上鷹見小学校	b. 月に1回以上	
横須賀市立武山小学校		e. 教員の異動に伴ってノウハハウが不足しているため
静岡市立田町小学校	c. 3ヶ月に1回以上	
川崎市立下布田小学校	d. 6ヶ月に1回以上	
西尾市立西尾小学校	a. 週に1回以上	
所沢市立安松小学校		e. 教員の異動に伴ってノウハハウが不足しているため
	b. 月に1回以上	

1.1 学校名を記入してください。	2.2 維持管理を目的とした組織はありますか。	2.2.ab1 その組織の主体を、以下からお選びください。	2.2.ab2 維持管理活動に参加している方を、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	a. あり	b. 教職員, g. 個人有志	2.2.ab2 維持管理活動に参加している方を、以下からお選びください。 b. 教職員, g. 個人有志
名古屋市立豊田小学校	c. ない		
甲賀市立油日小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	a. 児童, b. 教職員, c. PTA
甘日市市立宮園小学校	a. あり	d. 自治会	a. 児童, b. 教職員, d. 自治会
豊田市立寿恵野小学校	c. ない		
安曇野市立豊科南小学校	b. 今後、組織する予定がある。	コミュニティ・スクール	b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志
岡崎市立秦梨小学校	c. ない		
尼崎市立潮小学校	c. ない		
世田谷区立等々力小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, e. NPO	a. 児童, b. 教職員, e. NPO
さいたま市立日進小学校	a. あり	c. PTA	c. PTA
可児市立今渡南小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志
湖西市立知波田小学校	a. あり	b. 教職員, c. PTA, 市民団体	b. 教職員, c. PTA, 市民団体
北区立浮間小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志
吹田市立桃山台小学校	c. ない		
豊田市立五ヶ丘東小学校	a. あり	a. 児童	a. 児童, b. 教職員
西郷村立米小学校	a. あり	b. 教職員, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, f. 行政, g. 個人有志
東海市立船島小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志
福岡市立彦岐南小学校	c. ない		
磐田市立向笠小学校	c. ない		
杉並区立永福小学校	a. あり	g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志
寒河江市立南都小学校	a. あり	c. PTA, d. 自治会	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, d. 自治会
日立市立大沼小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	a. 児童, b. 教職員, c. PTA
私立 桐朋学園小学校	a. あり	a. 児童, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, 造園業者
石井町 石井小学校	c. ない		
大阪市立茨田小学校	a. あり	b. 教職員	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, d. 自治会
千葉市立越智小学校	a. あり	g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志
印西市立小倉台小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	a. 児童, b. 教職員, c. PTA
豊田市立上鷹見小学校	a. あり	a. 児童, g. 個人有志	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志
横須賀市立武山小学校	a. あり	教職員、地域ボランティア	b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志
静岡市立田町小学校	a. あり	a. 児童, b. 教職員	a. 児童, b. 教職員, g. 個人有志
川崎市立下布田小学校	a. あり	a. 児童, c. PTA, g. 個人有志	a. 児童, d. 自治会
西尾市立西尾小学校	c. ない		
所沢市立安松小学校	a. あり	g. 個人有志	
	c. ない		

1.1 学校名を記入してください。	2.2.c1 維持管理活動をおこなっている方を、以下からお選びください。	2.3 これまでの維持管理における主な課題点を、以下から3つまでお選びください。
大口町立大口西小学校		c. 財源の不足, d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
名古屋市立豊田小学校	g. 個人有志	a. 水源の管理, c. 財源の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
甲賀市立油日小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理
甘日市立宮園小学校		e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
豊田市立寿恵野小学校	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	c. 財源の不足, d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
安曇野市立豊科南小学校		a. 水源の管理, d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
岡崎市立秦梨小学校	a. 児童, b. 教職員, c. PTA, g. 個人有志	a. 水源の管理, b. 生物の管理, d. 人手の不足
尼崎市立潮小学校	a. 児童, b. 教職員	c. 財源の不足, d. 人手の不足, f. 専門知識の不足
世田谷区立立等々力小学校		c. 財源の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
さいたま市立日進小学校		b. 生物の管理, d. 人手の不足, f. 専門知識の不足
可見市立今渡南小学校		c. 財源の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
湖西市立知波田小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理, 教職員への維持管理をしていくための理解
北区立浮間小学校		d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
吹田市立桃山台小学校	b. 教職員, d. 自治会, g. 個人有志	c. 財源の不足, d. 人手の不足
豊田市立五ヶ丘東小学校		d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
西郷村立米小学校		a. 水源の管理, c. 財源の不足, d. 人手の不足
東海市立船島小学校		e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
福岡市立香成南小学校	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	c. 財源の不足, d. 人手の不足, f. 専門知識の不足
磐田市立向笠小学校	a. 児童, b. 教職員, c. PTA	a. 水源の管理, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
杉並区立永福小学校		d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
寒河江市立南都小学校		維持管理している「ヒオトップ委員会」の高齢化
日立市立大沼小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
私立 桐朋学園小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理, d. 人手の不足
石井町 石井小学校	a. 児童, b. 教職員	e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
大阪市立菜田小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理
千葉市立越智小学校		a. 水源の管理, c. 財源の不足
印西市立小倉台小学校		a. 水源の管理, d. 人手の不足
豊田市立上鷹見小学校		a. 水源の管理, d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
糠須賀市立武山小学校		b. 生物の管理, d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足
静岡市立下布田小学校		b. 生物の管理, f. 専門知識の不足
川崎市立西尾小学校	a. 児童, b. 教職員	d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
西尾市立西尾小学校		a. 水源の管理, b. 生物の管理, c. 財源の不足
所沢市立安松小学校		d. 人手の不足, e. 教員の異動に伴うノウハウの不足, f. 専門知識の不足
	b. 教職員	d. 人手の不足

1.1 学校名を記入してください。	2.4 維持管理における工夫点がございましたら、ご記入ください。
大口町立大口西小学校	
名古屋市立豊田小学校	特にありません
甲賀市立油日小学校	児童会活動や職員作業、PTA環境作業など年間計画に位置付ける。企業等の指導や協力。
甘日市市立宮園小学校	
豊田市立寿恵野小学校	
安曇野市立豊科南小学校	
岡崎市立栗梨小学校	学区有識者や学区環境保全活動講師の方のご協力 水源となる湧水を育む里山保全活動
尼崎市立潮小学校	外部講師を招き、同じ方に指導をして頂いている
世田谷区立等々力小学校	
さいたま市立日進小学校	特になし
可見市立今渡南小学校	児童の委員会メンバーによる当番体制を作っている。
湖西市立今波田小学校	市民団体が維持管理の主体となっているため継続した取り組みができる。
北区立浮間小学校	
吹田市立桃山台小学校	
豊田市立五ヶ丘東小学校	
西郷村立米小学校	週3回程度児童の委員会活動でピオトープの観察を行い、環境の変化を把握しておくようしている。PTAの「学びの森」委員会と連携して取り組んでいる。環境維持に取り組んでいる。
東海市立船島小学校	「フナピオ（ピオトープに住む妖精＝学校独自のキャラクター）」として、外部講師を招き、ピオトープを取り巻く自然環境について学習する機会を全学年設けている。
福岡市立香岐南小学校	
豊田市立向笠小学校	
杉並区立永福小学校	ネイチャークラブの方々がボランティアで協力してくれている。
豊河江市立南都小学校	地域住民によって組織される「ピオトープ委員会」が主となり、PTAと協働で各学年、年1回ずつのピオトープ活動(維持管理活動、生き物探など)が行われている。
日立市立大沼小学校	毎年5年生が中心となって総合的な学習の時間を使って、ピオトープの保全活動を行っている。
私立 桐朋学園小学校	児童主体の生きもの委員会が課題を見つけて、活動内容を決めることもある。ワークショップを開催し、維持管理の目的を共有しながら保護者・児童で参加して一緒に活動する機会を作る。
石井町 石井小学校	
大阪市立茨田小学校	地域の農家の協力
千葉市立越智小学校	毎年、学校行事や学習で全学年が活用し風化させないようにする。
印西市立小倉台小学校	
豊田市立上鷹見小学校	地域の環境保全団体との連携
横須賀市立武山小学校	
静岡市立田町小学校	
川崎市立下布田小学校	6年生の総合的な学習の時間で位置づけた
西尾市立西尾小学校	
所沢市立安松小学校	

1.1 学校名を記入してください。	3.1 ビオトーブを授業で活用していますか。	3.1.a1 授業をおこなっている学年を、以下からお選びください。	3.1.a2 授業科目を、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生	b. 生活, c. 理科
名古屋市立豊田小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
中翼市立油日小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
甘日市立宮園小学校	a. 活用している	c. 3年生, d. 4年生	a. 総合的な学習の時間, c. 理科
豊田市立寿恵野小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
安曇野市立豊利南小学校	a. 活用している	a. 1年生, d. 4年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活
岡崎市立秦梨小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, d. 4年生, e. 5年生	b. 生活, c. 理科, h. 図画工作
尼崎市立瀬川小学校	a. 活用している	e. 5年生	a. 総合的な学習の時間
世田谷区立等々力小学校	a. 活用している	c. 3年生, e. 5年生	a. 総合的な学習の時間, c. 理科
さいたま市立日進小学校	b. 活用していない	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	特別支援学級 生活単元
湖西市立今瀬南小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
北区立浮間小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活
吹田市立桃山台小学校	b. 活用していない		
豊田市立五ヶ丘東小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
西郷村立米小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
東海市立船島小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
福岡市立香峯南小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生	a. 総合的な学習の時間
鞍田市立向笠小学校	a. 活用している	c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	総合的な学習の時間
杉並区立永福小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科, e. 社会
寒河江市立南部小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
日立市立大沼小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科, h. 図画工作, j. 体育, k. 道徳
私立 桐朋学園小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	b. 生活, c. 理科
石井町 石井小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
大阪市立茨田小学校	a. 活用している	b. 2年生, e. 5年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活
千葉市立越智小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科, d. 国語
印西市立小倉小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
豊田市立上鷹見小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科, d. 国語, e. 社会, h. 図画工作
横須賀市立武山小学校	a. 活用している	c. 3年生, d. 4年生, e. 5年生	c. 理科
静岡市立下田小学校	a. 活用している	b. 2年生, d. 4年生, e. 5年生, f. 6年生	b. 生活, c. 理科
川崎市立西尾小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, e. 5年生, f. 6年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活
西尾市立西尾小学校	a. 活用している	a. 1年生, b. 2年生, c. 3年生, d. 4年生	a. 総合的な学習の時間, b. 生活, c. 理科
所沢市立安松小学校	a. 活用している	c. 3年生	a. 総合的な学習の時間, c. 理科
	a. 活用している	c. 3年生	a. 総合的な学習の時間

1.1 学校名を記入してください。	3.1 a3 授業内での活用方法を、以下からお選びください。	3.2 地域活動・イベントに利用していますか。
大口町立大口西小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
名古屋市立豊田小学校	a. 調査・観察	a. 利用している
中翼市立油日小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど), e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
甘日市立宮園小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	a. 利用している
豊田市立寿恵野小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	b. 利用していない
安曇野市立豊科南小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
岡崎市立秦梨小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作	b. 利用していない
尼崎市立潮小学校	a. 調査・観察, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	b. 利用していない
世田谷区立等々力小学校	a. 調査・観察	b. 利用していない
さいたま市立日進小学校	a. 調査・観察	b. 利用していない
可見市立今瀬南小学校		a. 利用している
湖西市立知波田小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど), 環境維持活動	b. 利用していない
北区立浮間小学校		b. 利用していない
吹田市立桃山台小学校		b. 利用していない
豊田市立五ヶ丘東小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作, e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
西郷村立米小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
東海市立船島小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
福岡市立香岐南小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
磐田市立向笠小学校	e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
杉並区立永福小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	b. 利用していない
寒河江市立南都小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	a. 利用している
日立市立大沼小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど), e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
私立 桐朋学園小学校	a. 調査・観察, e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
石井町 石井小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
大阪市立茨田小学校	a. 調査・観察, 5年 米作り	a. 利用している
千葉市立越智小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	a. 利用している
印西市立小倉台小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
豊田市立上鷹見小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, c. 表現・工作, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	b. 利用していない
横須賀市立武山小学校	a. 調査・観察	b. 利用していない
静岡市立下布田小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び	b. 利用していない
川崎市立西尾小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, e. 縦割り活動・異年齢集団活動	a. 利用している
西尾市立西尾小学校	a. 調査・観察, b. 探検・遊び, e. 縦割り活動・異年齢集団活動	b. 利用していない
所沢市立安松小学校	a. 調査・観察	b. 利用していない
	a. 調査・観察, d. 記録(ウェブづくり・新聞づくりなど)	b. 利用していない

1.1 学校名を記入してください。	3.2.a1 地域活動・イベントの内容をご記入ください。	3.3 授業・地域活動・イベント以外の活用内容について、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校		b. 児童の委員会活動の場
名古屋市立豊田小学校	稲作	d. なし
甲賀市立油日小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
甘日市立宮園小学校	地域に公開して、見学等を行なっている	c. 地域の方の憩いの場
豊田市立兼惠野小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
安曇野市立豊科南小学校		d. なし
岡崎市立養梨小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
尼崎市立瀬小学校		d. なし
世田谷区立等々力小学校		b. 児童の委員会活動の場
さいたま市立日進小学校		d. なし
可児市立今渡南小学校	市内の環境学習発表会	a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
湖西市立知波田小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
北区立浮間小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
吹田市立桃山台小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
豊田市立五ヶ丘東小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
西郷村立米小学校		b. 児童の委員会活動の場
東海市立船島小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
福岡市立香峽南小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
磐田市立向笠小学校		d. なし
杉並区立永福小学校		b. 児童の委員会活動の場
寒河江市立南都小学校	ピオトープ活動自体が地域活動	a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
日立市立大沼小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
私立 桐朋学園小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場
石井町 石井小学校		理科などの生き物観察、生活科の観察
大阪市立茨田小学校	蓮根を掘って、児童にふるまう。	
千葉市立越智小学校	放課後子供教室、ハスを見る会	a. 休み時間・放課後の遊びの場
印西市立小倉台小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
豊田市立上鷹見小学校		b. 児童の委員会活動の場, c. 地域の方の憩いの場
横須賀市立武山小学校		d. なし
静岡市立田町小学校		a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
川崎市立下布田小学校	PTA主体による清掃	a. 休み時間・放課後の遊びの場, b. 児童の委員会活動の場
西尾市立西尾小学校		b. 児童の委員会活動の場
所沢市立安松小学校		d. なし
		d. なし

1.1 学校名を記入してください。	3.4 地域の方への開放の頻度を、以下からお選びください。	3.4.a1 地域の方の利用頻度について、以下からお選びください。
大口町立大口西小学校	a. 普段から開放している	d. 把握していない
名古屋市立豊田小学校	a. 普段から開放している	a. 日常的に利用されている
甲賀市立油日小学校	a. 普段から開放している	d. 把握していない
甘田市立宮園小学校	a. 普段から開放している	a. 日常的に利用されている
豊田市立寿恵野小学校	c. 開放していない	
安曇野市立豊科南小学校	a. 普段から開放している	c. 利用されていない
岡崎市立桑梨小学校	a. 普段から開放している	c. 利用されていない
尾崎市立湖小学校	c. 開放していない	
世田谷区立等々力小学校	c. 開放していない	
さいたま市立日進小学校	c. 開放していない	
可見市立今渡南小学校	c. 開放していない	
湖西市立知波田小学校	a. 普段から開放している	d. 把握していない
北区立浮間小学校	c. 開放していない	
吹田市立桃山台小学校	c. 開放していない	
豊田市立五ヶ丘東小学校	a. 普段から開放している	d. 把握していない
西郷村立米小学校	c. 開放していない	
東海市立船島小学校	c. 開放していない	
福岡市立香岐南小学校	a. 普段から開放している	c. 利用されていない
磐田市立向笠小学校	a. 普段から開放している	c. 利用されていない
杉並区立永福小学校	c. 開放していない	
豊河江市立南都小学校	a. 普段から開放している	c. 利用されていない
日立市立大沼小学校	b. 地域活動・イベント時のみ開放している	
私立 桐朋学園小学校	c. 開放していない	
石井町 石井小学校	b. 地域活動・イベント時のみ開放している	
大阪市立茨田小学校	c. 開放していない	
千葉市立越智小学校	c. 開放していない	
印西市立小倉台小学校	c. 開放していない	
豊田市立上鷹見小学校	a. 普段から開放している	a. 日常的に利用されている
横須賀市立武山小学校	c. 開放していない	
静岡市立田町小学校	c. 開放していない	
川崎市立下布田小学校	b. 地域活動・イベント時のみ開放している	
西尾市立西尾小学校	c. 開放していない	
所沢市立安松小学校	c. 開放していない	

IV 全国の小学校の聞き取り結果

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/11/28 11:20~11:35	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
①	さいたま市立日進小学校	教頭 佐々木先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：財源の不足・人手の不足・専門知識の不足)

財源については、ビオトープを作る際にはコカ・コーラ財団からのお金があったが、作り終わってからはそういうものはありません。学校がつくったものなので市の教育委員会からも基本的にはお金がもらえないです。また、ビオトープは施設改修の優先順位が低いため、後回しにされて結局そこにまでお金が回らないです。

人手・専門知識の不足については、始まった頃に協力してくれていた地域の方たちの高齢化や教員の異動が主な理由です。もともと教職員も生物やビオトープを専門職にしているわけではないことも理由の一つです

・課題点への対応策について

近所の住民から落ち葉などのビオトープへの苦情が市の教育委員会に電話されることがあって、そういった時は教育委員会から80万円とか出してもらって、剪定をおこなっています。この時期は特に桜の落ち葉がひどいです。ただ、水源のポンプが壊れているがそういう物は基本的に直すことが出来ません。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

活用が主に特別支援学級で、春ごろにメダカの観察やザリガニ釣りをしています。そのため、生徒自身が覚えており、毎年やっています。これは特別支援学級の子供が少人数で1~6年生まで毎年同じことをやっているから子供が思い出を持っていることでできていることだと思います。通常学級は人数も多く、ザリガニを自分で釣ることができずに終わってしまい、ビオトープに思い出を持っていない子が出てきたりしてしまい上手くはいかないと思います。教員間では特別支援学級の先生3人の間で引き継ぎがおこなわれていて、資料なんかもパソコンにあると思います。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

もともとは地域のビオトープボランティアと教職員で協力して掃除をしていたりもしたが、コロナによってそれが頓挫し、現在も再開する予定はありません。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

活用したいがお金がありません。現在はPTAの方の予算でなんとかできないかと考えています。また、地域の人に迷惑がられているというのもあります。ハクビシンかタヌキかテンカがザリガニを食べたりしているらしく、地域から苦情が来ます。町中にビオトープは必要だと思うが地域に理解してもらわなければいけないと思います。今は用務員さんが月に2回掃き掃除をしてくれていますが、それではジャングルのような状態のままです。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/01 13:00~13:15	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
②	印西市立小倉台小学校	教頭 岡田先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：水源の管理・人手の不足)

水源の管理については、水の干上がりが課題になっています。人工的なため池と小川（水路みたいなもの）があり、ため池は結構深く干上がることはありませんが、小川の方は天気によって干上がってしまうことがあります。原因として、防水シートの劣化で水が染み出したりしていることもあると思います。そのため特に夏場などは気をつけて見ており、水が少なくなっていたら水道から水を引っ張っています。市に循環設備をお願いしたりしているがなかなか難しいです。

人手の不足については、ビオトープ担当（3人）のチーフと管理職の校長・教頭が主に見回り、干上がっていないかなどを見ています。夏は睡蓮が綺麗に咲くため特に気をつけています。他に草刈りもしますが、1回2.5時間くらいかかるので1人ではとてもできません。

・課題点への対応策について

ビオトープの環境に気をつけて、水が干上がることをないようにしています。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

基本は口頭でおこなっています。教務委員で3人のビオトープ担当が決められています。転勤等で3人が一斉にいなくなることをないように決めています。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

学校からお願いして、保護者と下草刈りを年1回しています。

去年からですが、年に1回7月下旬の土曜日に池の葦の除去作業や、ザリガニがつくる土手沿いのコロニーが崩れて池に溜まった土を引き上げています。これは「親児（おやじ）の会」が主催で子供のために進んでやってくれています。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

できる限り自然のままにしているので、ミニ水田などの草刈りが特に大変で1人ではとてもできません。ビオトープ担当の3人や管理職だけでなく他の教員、児童、地域の人たちなどみんなで少しずつ負担するのが大事だと思います。

子供達も生き物の観察などで楽しくやっており、そういった形でビオトープが愛されていくといいと思います。

今年の11月にサギがやってきて、千葉ニュータウンの町中に野鳥がやってくる自然があるというのも30年続けてきたからだと思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/01 16:30~16:50	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
③	千葉市立越智小学校	3年生担任 稲垣先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答:水源の管理・財源の不足)

水源の管理については、子供や教員がやっているわけではなく、ビオトープを作ろうとしてくださった地域の「メダカの会」の方たちが、ビオトープの環境整備や水源の確保といった環境整備をやっていただいています。その方々の知恵で作っていただいているものなので、コンクリートで固めたりはしていない部分もあって、たまに水が溢れてしまったり夏に止まってしまったりがあります。教員も知っておくべきではあるんですが、異動などでそこまで知らなくて、地域の方に整備をお願いしているところが課題点だと思います。

財源の不足については、年配の方が中心にやってくさっているんで、草刈りに機械を使っているが学校の方にも1台しかないことや、水の管理にもお金をかけられないことが課題点です。

・課題点への対応策について

月に1回、日曜日に「メダカの会」の皆さんが集まって草刈りなどの環境整備をやってくれていて、そこに教員もメンバーを割り振って参加しています。

ここ2年間は3年生が総合的な学習の時間でビオトープ学習をおこなっています。私(稲垣先生)も今年着任してきたばかりで、4月からの学習で「私にビオトープのことを教えて」という形で始めて、子供達がイメージしているビオトープの生き物、バッタやカマキリ、セミだとかがいるんだよっていうのを教えてもらいましたが、実際に見に行ったら「セミがない、カマキリがない」なんていう形になって、そこからビオトープにいる生き物たちの不思議について調べようという形で学習を進め、春夏秋とやってきて、季節によって生き物が違うんだとかの変化を子供達が調べていくという学習をしていました。11/26には学習参観があり、地域の人や保護者に向けてビオトープの不思議という形で発表をしました。今後は冬もやっていこうと思っていますが生き物がないので、ビオトープを守ってくれている人たちを知りたいというのが4月当初に出ていたんで、「メダカの会」と連携してそれを引き継いでいけるような学習をしていく予定です。最終的にはビオトープの地図をつくりたいという風にまとまっていて、ビオトープのパンフレットをつくって、来年新しく来る先生や1・2年生にお渡しできればと考えています。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

「メダカの会」の中心になっている方が結構学校に来てくれることが多くて、その方を中心に春にはこんな整備をしているとかの説明はありますが、ビオトープがどんなところとかの資料はありません。季節ごとの整備の資料はあるし、季節の鳥の名前や鳴き声なんかをご講話いただいています。

今年から、総合的な学習の時間をより全体で考えていこうということで、今後につながるよなという点で、3年生のビオトープ学習ができました。

聞き取り調査表

教員も異動があるので、全然地域のことを知らずに出ていってしまうというところで、それを地域の方が子供達に教えるという体で、サポートしてくれているのがありがたいです。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

放課後の子供教室「放課後わくわくキャンパス」という放課後支援の、保護者の方中心の取り組みの一環で「メダカの会」が、ビオトープのビンゴや宝探し（「赤い木の実を探そう」みたいな）のようなゲーム感覚でビオトープを知れることをやってくれています。ただ、希望者がやるものなので、全員ではないというところは勿体無いと思っています。「ハスを見る会」は大賀ハスがどうやって咲くか、成長するのかっていうのを説明して下さって、大人や子供が見る会というのが夏あたりにあります。これも「メダカの会」が、大賀ハスが千葉ゆかりである歴史やなぜ越知小学校にあるのかも踏まえて説明してくれています。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

今年初めて来てこんなビオトープがあって、「私1人じゃ、ビオトープ学習を本当に進められないな」というのが正直なところで、やはり地域の方たちが守ってきたというのをちゃんと踏まえて子供達に授業をしていかないといけないなと思っています。ただ、会の方もご高齢なこともあり、それを伝えていくのも課題だと聞いたことがあります。それを、環境を維持していくために私たちなりにできることだったりとか、いろんな人が関わって守ろうとしないと継続できないものだと思いますし、関わり方というのを話していかないといけないと思います。教員の立場からすると、学級の掲示物とか校内への伝え方とか子供達なりに調べたことをどンドン伝えていくといったところが必要だとも思います。

ビオトープって言葉すら知らずに学校に来たので、本当にこういった研究って大事ななと思いました。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/01	聞き取り方法	メール
番号	小学校名	聞き取り対象	
④	石井町立石井小学校	主幹教諭 多田先生	

地域の方が管理するビオトープでの活動が主で、学校内のビオトープ（中庭の丸池）は理科の観察程度

・課題点の具体的な内容について

（アンケート回答：教員の異動に伴うノウハウ不足）

特にありません。それぐらい地域の方によくしてもらっています。

・課題点への対応策について

特にありません。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

学年毎にビオトープを利用させていただくので、学年主任の引き継ぎファイルで活動内容を引き継いでいます。

また、ビオトープの方がよく覚えてくださっており、「去年はこんなことをしたよ」と教えてくれます。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

石井小学校は、ビオトープ気延の里という地域の方が維持管理しているビオトープでの活動（稲作など）を主におこなっています。あちらの方がよく内容を覚えており、「去年はこんなことをしたよ」と教えてくれます。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

本校では「ビオトープ気延の里」の皆様のおかげで活動ができております。

地域の皆様のおかげで教育活動が行えております。

決してこれは「当たり前」のことではありません。

そこに「感謝の気持ち」をもち、活動を楽しむことが継続していくために大切だと考えています。

子どもたちは現地で直接気持ちを伝えたり、お礼の手紙を書いたりします。

我々教員も、コロナ禍でもこのように活動に柔軟に協力していただけること、また、快く引き受けていただけることにいつも感謝しています。

ほぼボランティアでしてくださっていますので、大変ありがたいですが、予算がつけられるのであれば、継続していく一つの方法だと思います。

心配事としては、ビオトープの関係者の方々のご高齢になられていることです。未永くお元気でいてほしいですが、今後ビオトープの活動がどのように引き継がれていくのかについてはわかりません。

子どもたちはビオトープに行くことを大変楽しみにしています。

今後とも継続して、活動ができるように感謝の気持ちを持ち続け、地域とともにある学校であり続けたいと思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/06 13:00~13:20	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑤	豊田市立五ヶ丘東小学校	田浦先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：人手の不足・教員の異動によるノウハウ不足・専門知識の不足)

2年前に、中心になって取り組んでいた熱心な先生(谷口先生)が異動し、その先生がいないと成り立たないところが出てきて維持管理として難しくなりました。具体的には、引き継ぎ文書等はいくつかあるんですけど、文書化されていない細かなノウハウ、ビオトープに関わる植物の知識や谷口先生がやっていた授業など、目で見ないと分からないようなものが、わからなくなっています。

・課題点への対応策について

谷口先生が異動して、続けていくことが難しくなって、維持管理に関するマニュアルの方は本校にもあったんですが、難しいというか異動してきた先生にはわかりにくい部分もありましたので、谷口先生におまかせしていた部分を他の先生にもわかりやすいようにマニュアルを作成し直した。

先生がいなくなってから、「これもわからない、あれもわからない」というのがわかりました。ただ幸いなことに近くの学校(上鷹見小学校)にいらっしゃるので、わからないことがあればその都度電話でお聞きして調整できている部分はあります。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

元々あった文書をもとに改善し、文書ベースで引き継ぎをおこなっている。

文書にできない部分について

ここ2~3年でコロナにより学校活動がすごく制限されている状態なんです。その影響で地域の方を呼んで協力していくことができなくなりました。本当は地域の方に足繁く通っていただいて、知っていただいて関心を持っていただきたいと考えていたところでそれができなくなってしまった。なので今の所地域の方に広く知らせる機会がなくなっています。

何回も賞を受賞したが以外と地域の方に知られていないことに気づいて

例年、ビオトープの維持管理である草刈りや外来植物の除去を5~6年生がこまめにやっていたんですが、熱中症の死亡事故があった影響で屋外で活動をする機会がグッと減ってしまっていて5月のちょっと暑いなあって時期から9月の終わり頃までろくに、WBGT(暑さ指数)が31を超えると難しく、外に出られなくなったという背景があって、一番いい夏の時期に活動ができなくなってしまいました。そこがすごく厳しいです。

うちの学校は小規模校なので教員も少なく、なかなか気をつけながら活動するというのが難しく、みんなを見ながら草取りをするというのが難しい。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

何団体かの学校のボランティアの方々は知ってくださっているんですが、実際に草取りをしてもらうなど、そこまでは進んでいなくて、コロナが落ち着いて地域との交流ができるようになれば、何回か見ってもらって、できれば地域の方にも維持管理の方を手伝ってもらえれば、地域の方々はそこに住んでいるので一番知っている地域の方が維持管理などのノウハウ

聞き取り調査表

がちゃんと伝われば、たとえ先生方が異動になっても維持管理のノウハウはきちんと受け継がれていく可能性が高いのかなと思います。現に卒業生の、今中学生の子って当時受賞した子もいるんですけど、ビオトープには関心を持ってくれていて、論文コンクールでビオトープと自然の共生というテーマでスピーチをしたという記事を見かけたので、卒業生のビオトープに対する愛着というのが、親になった時にその子供に、「小学校の頃はこういう風に草をとっていたよ」という形で伝われば少しでも持続可能性は高まるかなと考えています。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

前任者の谷口先生がつくった通りにはいかないんですけど、思い切ってもう壊してしまうような形で、その先生たちにあった維持管理活動や教育活動をどのようにやっていくかというのを考えた方が、その先生たちにとっても楽しいんじゃないかと思ってて、今スクラップしてビルドしていこうかなと思っています。その時々というか時代も変わっているので、時代と先生たちが変わっていることを踏まえて、もう1回先生たちがやりやすいようにその時代にあったように考えていけたらいいのかなと思っています。

谷口先生はビオトープ管理士の先生、日本で2人？

1人のすごく熱心な先生がいたからというのはあるけど、実際に谷口先生が出て行ったからできなくなったというわけでもなかったし、その熱心な先生のやる気を受けて私も面白さを教えていただいた面はあるので、そういった形で続けていければいいですし、地域に全く協力してもらっていないわけではなくて、ボランティア団体の方に目をかけていただいているので、頃が明けてから交流が活発になればきっといろんなことができるんじゃないかと思っています。

自然が豊かな学区なので、まち並みを自然あふれる住宅地にしたいというコンセプトでできたところなので、自然に関する興味・関心を持っている方々が多いので、その土台はしっかりとあると思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/09 15:00~15:20	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑥	豊田市立上鷹見小学校	教頭 谷口先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：水源の管理・人手の不足・ノウハウの不足)

水源の管理については、本校のビオトープは大きな池が2つあるんですけど、その水は川から水を取って池に引いておるんですけど、結局自然のものなので、長く雨が降らないですとかそういうことになりますと水量も減りますので、水量が安定しないということですね。後、農業用の水路を通ってくるわけですからそこに川からの砂とかが溜まって来ますので、これは定期的に子供たちや地域や保護者の方が水路掃除をするという形で復旧しているんですけど、すぐに掃除ができないこともありますので、そういう時は池に水が来ないということになったりするということです。いつ水路が詰まるのか毎日見てもなかなかわからないところもありますので、そこが難しいところかなと。

人手の不足については、本校は小規模校ですのでやっぱり、大規模校ですと人数でできると思うんですが、1学年が10人前後の小規模な学校ですから職員の数も少ないということもあって、学校の中だけでいろんな整備をするのが難しいので、今は保護者の方に去年は1回整備のお願いをして、今年も1回お願いしたんですけど、よくやってもらって1回ですよ、年間で。そう度々来てもらうということは出来ないの、そういう環境整備という名目で土曜日に設定して、参加できる保護者の方に参加してもらうという感じですね。

ノウハウの不足については、本年度、私ビオトープ管理士の資格を持ってまして、教員が替わっていきますのでなかなか管理とか仕方がわからないということがあります。2005年~2021年までの賞を取っていない間について、なかったんですけど、校区が農山村なので地元の方は田んぼや畑や里山などご自分のところをお持ちですので整備に慣れていらっしゃる、私が20年前にビオトープをやっているこの学校を出たんですけど、その間の15年間ぐらいは、結局地元の人をお願いして田んぼやら里山の作業をするついでにビオトープの方も近隣と同じようにやってくださいとお願いする感じでやっていただいていたんじゃないかと、ですからその環境は維持されてきたんじゃないかと。特にいろんなものを作ったりだとか、ビオトープ本来の自然に働きかけてということには使っていなかったかもしれないですけど、通常、里山の整備のように、地元の方の協力を得ながらやれていたの、15年間ビオトープが維持されてきたのじゃないかと思えます。本校の地域性といいますか本校ならではのことだと思えますね。やっぱり周りがそうじゃないところは、学校だけで管理ができないので、結局作ったけどわかんないからってことで放置されてしまったりになっちゃうんですけど、本校の場合は幸いそういう地域なもんですから、地域の力を借りて15年間ほぼ変わらない状態で維持できたということだと思えます。

・課題点への対応策について

水量が足りない時は、今年大幅に水が来ない時があったもんですから川から直接、ポンプを使ってそれで流すということを2回ほどやりました。すぐに掃除ができないこともありますし、頻繁にあると困りますから、学校の方で検討してポンプを学校の予算で購入したので、

聞き取り調査表

これから緊急時はポンプで汲み上げるということではなんとか対応ができるのかなと思っております。

なかなか大きな整備しなきゃいかんという場面が20年も30年も続けていくと出てくるので、修繕が必要なところが出てくるものですから、これから毎年なんらかの修繕をしていかんとなると、今年は1回だけしか設定していないですけど、来年度以降は年に2回とか、または地域のリタイアされた方たちに学校の方からお願いして募集して募って、人材集めをするというのをちょっと来年度以降考えています。今年度そういった面で人手が足りなくてなかなかやりきれなかったところがありますので、来年度以降はそういった地域にも呼びかけていこうかというところです。保護者も年に1回だったけど2回にしようかというのをPTAで声を上げてもらうというのを検討しています。

ビオトープ管理マニュアルというのを、去年度の末に本校作りまして、後、整備カレンダーというので4月~3月までの1年間、その月はこういう整備をするというですよというのをまとめたものマニュアル的なものを私の方で作成しまして、今後はそれを使って引き継ぎをしていけば、新しい先生もそれを見ればどんな管理をすればいいかどんな活用をすればいいか、そういうこともわかるようなものを、私が昨年ここに赴任してきたので、きてから作ったものですから、まだ作った段階ですので、来年度以降、これからそれを活用しながら職員の中でも引き継ぎ等でこれを使っていけば、多分大体のことはわかるんじゃないかなと思います。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

校務分掌で環境教育を担当するものは替わりますので、その管理マニュアルやカレンダーを使って、こういうような形で整備管理をしていけばいいよという形で、今後はそれを使って引き継ぎができればいいかなと思っています。

私が15年前にいた時のことをある程度、朝の管理ですとか、子供が朝管理をするということをやったんですけど、それが6年生のボランティア活動だったんですけど、委員会活動としてそれが残っているんですね、だからやり方だとか形は変わっていますが、それが代々引き継がれて、子供が毎朝ビオトープに行って点検をして整備をしてとか観察、記録をするという、やっていたことを、去年はこんなふうにはやっていたよということで今年も引き継ぎ同じような感じでということで、形としては引き継がれているんですね。ただ、それがなぜやっているのかという、なぜ元々そういうことをやっていたのかという本来の意味はしっかりと引き継がれていないのかなと思うので、今年20年ぶりに来ましたので元々はこういうことでやっていて、子供たちがやっている活動はこういう学習につながっているということを私の方から先生方に伝えてご理解いただいて、またマニュアルの方にも入れさせていただいて、今後はそれがちゃんと意味ある活動になっていくといいかなと思っております。形だけは前年度はこうやっていましたというのが続いていて、なんとか引き継がれてきたということだと思います。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

元々は自然愛護会というのがありまして、学区のところ、これは全ての住民の方が入って

聞き取り調査表

いるんですが、その中に自然のこと、整備のこと、草刈りをやったりだとかですね、そういうことの経験のある方に学校の呼びかけで来ていただいて、一緒にお手伝いをしていただくという形ですね、以前は。今は、本校の学区にラムサール条約に登録されている「上高湿地」というところがありまして、そこを地元の人がやっている「上高湿地を守る会」という団体があるんですけど、そこの方をお願いをして何か整備があったりだとか里山を整備したりだとかビオトープの周辺の整備をしたりすると、その団体の方が協力してくださっています。ビオトープに隣接する里山に竹が入り込んでいて、ほかっておくと藪のような状態になってしまうので、毎年このくらいの時期、冬に「上高湿地を守る会」の方に竹を伐採してもらっております、これは毎年していただいています。会に入っていない方にもお手伝いいただいたりしています。地域の方、皆さんに支えられています。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

維持管理できる体制づくりだと思います。連携するところをいかに作ってですね、維持ができる体制を作っていくことが大事かと。保護者とか教員や子供もそうですけど、やはり替わっていきますよね、でもビオトープは残っていきますよね。そうなってくると地元の愛護団体ですとか、本校ですと、豊田市の環境学習の公的な施設があってそういったところとか企業の環境学習に力を入れているトヨタ自動車みたいなですね、そういったところとうまく連携してそういう整備のご協力をいただいたりだとか、学習面でサポートしていただくとか、いろんなところとのつながりをきちっと作って体制を作るのがポイントじゃないかと思います。これを学校だけでやっていると、どうしてもどこかで途切れてしまいますよね、熱心な先生が異動したりだとか、すごく頑張っていた子供たちが卒業しちゃったりだとか、熱心な保護者が子供が卒業しちゃって関わりがなくなっちゃったり。そうならないようにするには、環境施設や企業や、または地域のNPO団体とかとうまくつながりを作りながら体制を作るのが継続のポイントじゃないかと思います。それは少しずつ少しずつ作っていくものだと思うので、一番難しいところだと思いますが、それがないと続いていかないのかなと思います。発信も大事ですよ、本校はこういうところに力を入れていますよというのをね、いろんなところで発信をしていくと、いろんなところから声がかかることもありますので、やっていることを広くみんなに知ってもらうことも大事だと思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/09 16:00~16:10	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑦	尼崎市立潮小学校	5年生担任 石田先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：財源の不足・人手の不足・専門知識の不足)

財源の不足については、毎年ビオトープに対して割り当てられているお金がなくて、自然学校とか自然体験学習が終わってから、残ったお金をビオトープに回したりとかで、なかなかそこが決まらず少ないということですね。ビオトープの水が抜けやすくなっていて、多分防水シートが破れているか植物の根っこが貫通しているかで水が漏れていると思うんですが、それを直すとなったら、土を掘り起こして防水シートを替えてってなるんですが、防水シートが高いそうなのでそこはなかなか手が出せないなとなっています。

人手の不足については、専門知識の不足と被るんですが、毎年5年生の担任が変わりますので専門的な知識も無く、5年生の担任になってからビオトープのことを知ることになっているので、それを担任だけで回していかないといけない。時々瀬口先生という方がいらしゃって、ビオトープのことを教えてくれるんですけど、やっぱりなかなか常時活動というところまではいかないところとなっています。

瀬口先生は、潮小学校のビオトープができた時から関わってくださっている、NPOのそういった環境の団体をされている方です。

・課題点への対応策について

お金のことは特にしていることはないです。

専門的知識というところでは、瀬口先生に頼ったりだとか市の職員の方で瀬口先生のような方にパイプを繋げてくれる方に相談をして他校との交流をしたりだとかをしています。

ビオトープの担当は毎年5年生の担任の先生がやっています。他の先生方はほぼノータッチですね。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

ビオトープの活動をする前に去年の活動を聞いたりだとか、池から循環して上に流れるような装置の仕組みとかの引き継ぎは口頭でおこなっていましたが。ただ、環境的なことや生態系維持の為にというような専門的な引き継ぎなどはおこなっていません。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

瀬口先生にビオトープの仕組みや生態系維持のためにこうしないといけないとかそういうことを授業してもらいました。

近くの幼稚園でビオトープをしっかりやってらっしゃるところがあって、そこに見学させていただいたことはあります。今度そこからメダカをもらう予定です。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

今のところ1番はお金なのかなと思っていて、やってみて想像以上にお金がかかるなと思ったんです。何か1つ買いたいと思ったら、今、潮小学校のビオトープが植物とか生き物が定

聞き取り調査表

着しているっていう状態までいっていないんです。なのでそこをより良い環境にするってなると、足りないのかなと思っています。

引き継ぎとかも大事だと思っていて、これまでずっと口頭での引き継ぎだったので、何か学校でマニュアルとかを作ったほうがいいのかと思っています。

ただ、1人だと他の業務もあるのでなかなか手が回らないところがあります。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/14	聞き取り方法	メール
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑧	甲賀市立油日小学校	竹若先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：水源の管理・生物の管理)

【教員間の引継ぎ】

小学校の教員は3年～9年で異動することになっています。担当していた教師の異動により、ビオトープが荒れてしまった、活用されなくなった等の課題をよく聞きます。実際、近くの小学校でも、以前はあったビオトープが十分に活用されていないように思えることがあります。教師間での引継ぎは、大きな課題です。

【専門知識】

環境教育が専門の教員は少ないです。私も違います。専門知識がないことで、ビオトープの管理について心配になることがあります。どのように維持し、どのように活用するとよいかについても専門知識があればもっと広げることができたのではないかと思うことがあります。

【生き物】

上記と似ていますが、ビオトープに入ってきた動植物を保護すべきか駆除すべきかは、迷います。外来種は駆除の方向でいますが、その見分けが難しかったり、子どもが触ってもよいものかわからなかったりするなど悩むことが多いです。

【費用】

ビオトープを維持管理していくには、費用が必要です。現在は、公費で賄っています。活動のためには、企業の支援金に応募しています。今後、土手の修復、木々の伐採、剪定（光を取り入れるため）などが必要になったとき、その費用を出すところがないことは、大きな課題です。

・課題点への対応策について

そのために、各学年の活動を具体的に残し、教育課程に位置づけることで、だれが担当してもできるようにしています。また、各学年の活動には、専門知識を持った方を講師として招聘できるようにしていて、困ったときは、相談もしています。生き物については、ビオトープを設置していただいた(株)ラーゴにモニタリング等をお願いしていて、アドバイスなどをいただいています。費用は、今のところ、公費で予算をつけていただいています。また、県のエコ・スクールに登録することで助成いただいたり、トム・ソーヤスクール企画コンテスト、ちゅうでん教育振興助成等に応募して助成金をいただけるようにしたりしています。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

教員間では、まず、学年の活動については、確実に引き継げるように文書やプリントを残しています。環境教育の中心になる環境主任は、なるべく本校の活動全体をつかんでからの引継ぎになるようにしたいとは考えています。教職員の研修をしたり、整備作業を年3回程することで、維持管理に全員がかかわるようなもしています。

聞き取り調査表

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について**【シオノギ製薬株式会社油日植物園】**

ビオトープの中に薬草園を作っていただき、3年生総合的な学習の時間「めざせ！薬草はかせ」の中で、「アイ」の植え付け、アイを使ってのたたき染めを支援していただいています。また、6年生の総合的な学習の時間「油日再発見」の中で、「ムラサキ」の植え付け、収穫した紫根の処理、くすり学習館での紫根染め体験の支援をしていただいています。

【県立甲南高校バイオとかがく系列の森田先生と高校生】

3年生の総合的な学習の時間「めざせ！薬草はかせ」の中で、年2回、薬草ビンゴ、薬草みつけ、観察などで講師としてお世話になっています。また、6年生の総合的な学習の時間「油日再発見」の中で、ササユリのバイオによる培養体験を甲南高校でお世話になっています。

【滝区ササユリ保存会】

6年生の総合的な学習の時間「油日再発見」の中で、ササユリ保存会の方の活動を聞いたり、活動に参加させていただいたりしています。

【油日・上野生産森林組合】【財産区】【油日小学校教育後援会】

4年生の総合的な学習の時間「私の森林体験」の中で、間伐、枝払い、玉切りなどの見学や体験をさせていただいています。のこぎりの使い方などをおしえていただいたりもします。後援会長様からは、学校林の見学とその意義のお話を聞いています。

【みなくちこどもの森の学芸員の先生】

専門知識が必要なときなどに来ていただいたり、電話で教えていただいたりしています。

【株式会社・ラーゴ】

環境フェスティバルで3年生が生き物調査をするときの講師としてビオトープの生き物について教えていただいています。今年、設置したトレイルカメラに映った生き物の画像を送って、名前等を教えていただいています。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

油日小学校のビオトープは、2000年3月に竣工されて23年になります。甲賀の原風景、子どもの遊び場、ということコンセプトにして、難しすぎないように続けられるようにと、いうことを大切に維持管理してきました。教育課程の中に位置づけられていること、小さな活動を続けることがビオトープにしても、エコ活動にしても大事と考えています。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/15 14:10~14:25	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑨	(学)桐朋学園 桐朋学園小学校	小野先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：水源の管理・生物の管理・人手の不足)

水源の管理については、井水が出てきていてそこから田んぼにまで引いているが、田んぼが狭くて手前にオーバーフローさせている。また、太陽光パネルで水を循環させているけど、あまり水が動かないので、特に夏前・夏は藻が発生して、手で取らないといけない。

生物の管理については、木の剪定が大変で低いところは自分で出来るけど高いところは業者に頼むしかない。剪定した枝とかはヤギが食べてくれるからそこは幾分楽にはなりました。

人手の不足については、ワークショップをやるけど先生主体でないとできなくて大変です。私立校だから地域とってというのはあまりなくて、主に保護者とやる。

・課題点への対応策について

今、農大の子が研究でうちのビオトープを調べていて、それで水質とかは見てもらっています。ワークショップをすることで、なぜその作業をするのかという理由を知ってもらって、やりたい・やらないといけないよねっていう人が増えてくると思っています。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

だいたい月1で自然に関するニュースを集めた新聞を作っているんですけど、子供だけでなく先生もそれを見て情報を知ったりしています。やっぱり子供たちが質問をするから先生方もそれで勉強してみたいな感じで。最近で小学校でネズミが出るようになったんですけど、それを駆除するのが可哀想って言われて、なぜしないといけないのか、それが正解かはわからないんですけど、子供たちと考えたり教えたりしています。

ただ、自分が主軸になってビオトープ活動や環境教育をしようっていう人はまだ出てきていないですね。次の理科の先生もそういう点ではまだダメですね。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

地域の人ではないけど、保護者と子供たちとワークショップをしていて、雑木林の笹刈りや業者の大きい樹木の剪定・伐採作業の見学、木道の杭の打ち直しや、土が踏み固められて固くなってしまったのでチップを撒いて柔らかくしたりしています。他にもかざんだん？、穴の空いているものを水路の前に置いて濾過しているけど、泥が溜まるからその掃除もやっています。そうやって一緒に綺麗にすることで、なぜやるのかの理由を知ってもらうことも目的にしている。

後、卒業生で近くで建築や造園をしている子供たちが、自分たちが遊んでいた場所でそういうことをするんだったらということで、一緒にやってくれたりする、もちろんお金は払っているけど。他にもOBが来たって言って協力してくれていますね。

聞き取り調査表

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

仕事でやるっていうのではなくて、好きだから、自然を大事にしたいっていう人がやってい
かないといけないと思う。次の人が見つからないのは、無理に誰かに任せでも仕事になって
しまうから。仕事でやって形だけビオトープを残していてもそれでは意味が無い。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/15 16:30~16:40	聞き取り方法	電話
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑩	日立市立大沼小学校	榊先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：水源の管理・生物の管理・教員の異動によるノウハウの不足)

水源の管理については、水道を使って水を引いているんですけど、その水道の管理が大変ですね。

生物の管理については、メダカとかがいるんですけど、ザリガニもいて子供たちと駆除をしているところですね。あと、子供たちがカブトムシに来て欲しいってことでクヌギなんかの樹液が出る木を植えたんですけど、なかなか来なくて子供たちの頑張りが結果にならないというところが難しいところですね。

教員の異動によるノウハウ不足については、今までやっていた人がいなくなってしまうので実際にやってみてわからないところが出てきたり、補助金の管理なんかが大変ですね。

・課題点への対応策について

次の学年に渡す「引き継ぎ式」っていうのを年生と5年生でやっていて、5年生が今年の活動についてパワポや絵本で4年生に発表するっていうのを、毎年形は違うけどやっていますね。コロナ前は全学年の前でやっていたんですけど、今は難しくって。ただ、オンラインとかを使ってまた全学年の前でできないかというのは考えていますね。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

来年度の担当に今年のやったことやそのやり方なんかを写真や資料と口頭で引き継ぎをしています。ビオトープにこんな植物があってといった資料もあります。ただ、最初にビオトープを始められた方たちの思いとは色々変わっているかもしれないですね。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

今年度はできていないんですけど、前年度までは地域の緑地で活動されている方々にご協力いただいて、子供たちにビオトープのことや引き継ぎ式のアドバイスをいただいたりしていました。前年度はビオトープのまわりに20本程、植樹も一緒にしていただきました。ビオトープ管理士の方に、ビオトープの環境にあった木や季節を感じるモミジ、子供達の要望でカブトムシを呼ぶためのクヌギなんかを選んでもらって、みんなで植えました。

ただその方たちもご高齢で今年は難しいと言われて、今後は難しいかもしれません。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

子供たちが頑張っているのは、他の学年や地域の人に知ってもらうため、今年はホームページを自分たちで作って、そういうふういろんな人に知ってもらうということが大切だと思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/19 10:00~10:30	聞き取り方法	Zoom
番号	小学校名	聞き取り対象	
⑪	東海市立船島小学校	教頭 荒木先生	

・課題点の具体的な内容について

(アンケート回答：財源の不足・人手の不足・専門知識の不足)

財源の不足については、東海市の取り組みとして以前は「かがやく学校事業」というものがあった、それぞれの学校の特色を出して、例えば体力作りに力を入れる学校だったり合唱活動に力を入れる活動だったり、それぞれの学校の特色を出していこうということで計画を立てて、それに基づいて予算を要望し、市の教育委員会が査定し、ここの学校の取り組みに対してはこれだけの予算が必要になるだろうという予算配分があったのですが、その取り組みとして船島小学校は自然豊かな環境で池につながっていくような小川のような環境があるということでビオトープを作ろうということで、その事業をきっかけにビオトープを正式に整備しようということになりました。その「かがやく学校事業」が毎年続いていて、市の予算があり、今年はこのやるからこれくらいの予算、となっていたのですが、その事業がなくなってしまったので、根本的に財源がなくなったということですね。なので学校独自で予算を工面しないといけないんですけど、そもそも当てられるものがないので、単純に普通の委員会とかの活動でちょっと掃除をしたりだとか整備をしたりだとかということをやらざるを得なくなったというところがあります。

人手の不足については、私も本年度この学校に赴任したのですが、ビオトープのこれまでの活動についてもそもそものどういう整備が必要なのかということもわからない状態で少しずつ少しずつ覚えていったという風になるんですが、大体5年周期くらいで職員は入れ替わるものですから、そもそも人が入れ替わるということと、特にこの活動に専門的に関わっていく教員となると、小学校のパターンで多いのは学校の環境整備だとかを担当する、愛知県は教務主任の下に校務主任という立場があるんですけど、校務主任が担当することが多いです。校務主任という立場は教務主任の次なので、校長、教頭、教務、校務といういわゆる四役の立場になるんですけど、いろんな担任とかをやってきていわゆる役職に上がる立場で、それまでの、緑化とかの知識があるわけではないので、ずっと担任とか学年主任とかを頑張ってきて校務主任になると、今まで知らなかった設備のことを担当しないといけないということで校舎のことだとか敷地内のことを、「全然、こんなことわからないなあ、なんでずっと担任とかをやってきたのにこういうことをやらないといけないのかな」というギャップを感じる仕事なんですね。うちの学校に来るとさらにそこにビオトープ活動というのが加わってきて、だから他の学校から船島小学校に来て、校務主任になっていろんな施設のこと初めだし、船島小学校のこと初めだし、ビオトープのこと初めだしということで、1番関わりを持つ校務主任がまずゼロからスタートするというのがやっぱり難しい面があるのかなというところがあります。後、校務主任が担当しないと、学校には大体緑化委員会というのがありますが、子どもたちの指導はその緑化委員の担当がおこなうことになるんですけども、そこも学校組織としては難しいところで、いろんな委員会を担当することが望ましいということで、毎年その委員会の担当職員を入れ替えたほうがいいということで替える場合もあるし、やはり慣れている職員がやっていた方が子供の指導もできるということで替えないパターンもあるし、そこは校長の判断にもよるし、いろんな職員で話し合っ

聞き取り調査表

て方針がいろいろ変わることもあるので、単純に言うとは緑化担当も替わって来る可能性が大いにあるということになると、ずっと専門的にやる職員が安定して見れるわけではないので、毎回毎回緑化担当になるとビオトープのことも、子どもを動かしながらやっていけないといけないというところで、職員によってはまたゼロからのスタートになるところが大きいかなと思います。本当は1学期から積極的に子どもを動かしながらビオトープ活動を学校の活動として、動かしていけないといけないんですけど、まず指導する職員がなかなか慣れないでどうしようどうしようと言っている間に、1学期が終わって、ビオトープどうなってるみたいなことで、そろそろやらないといけないよねということで、年度始めから計画的にやっていくって言うことが、すごく、組織としても計画立ててやっていけないとうまくいかないという側面は、人事異動がある学校組織を考えるとその辺は難しいかなと思いますね。

専門知識の不足については、理科の授業と絡めるということで考えれば、自然と触れ合うということについては、それぞれ教材研究をしてなんとかやっていける範囲かなと思うんですけど、現状は無理せずに、この長い伝統の中でビオトープ活動に関わってくださる機関の方や地域の方を講師として招いて勉強するための力を お貸しいただいているんですが、意外とご高齢の方が多く、我々の専門知識ではできないところを地域の方をお願いはしているんだけど、私が今年お会いした中でもちょっと体調が悪くて来られないだとか、昨年見えた誰々という方はちょっとこういう活動はやめられて抜けられましたという話も聞いていますので、地域の方を頼りにしてお願いしているんですが、なかなかそこも、その人材も限られているというところも難しく、また新たな人材、協力していただける方を見つけていけないといけないということも課題としてあります。

・課題点への対応策について

外部のいろんな方の力が必要と感じていて、ちょっとお伝えしていなかったことがあって、緑化推進事業でコンビニのローソンさんの「緑の募金」があるんですけど、ローソンさんのレジ横の緑の募金と愛知県の緑化推進事業が連携していて、その補助を受ける学校ありませんかということで、本年度は本年度で申請していて、実は通っていて、本年度はもう進めています。ビオトープのスタート地点に井戸があるんですけど、その井戸の整備はローソンさんと県の推進事業の費用で賄っていただいて無事に井戸の整備が完了しました。だからそのような形でいろんな、SDGs のこともあってそういった取り組みを推進、サポートしていただけるような事業もあると思うので、財源の確保だとかも含めてアンテナを高くしてやっていこうかなと思います。

・教員間でのビオトープに関する引き継ぎの有無と、その方法について

年度始めって学校の教育方針とかについて情報交換をする機会だとか今年度の校長の経営方針はこうだとか子供の指導方針はこうだとかいうのを良く入念に打ち合わせはしますし、それは大事なんですけど、先ほどから言っているようにビオトープに関しては、ものすごく得意としている人が完全にはいないというのが現状でなんとかなんとか担当者同士で「これはこうだから」って校務主任同士が替わるときに情報交換して、教務主任同士がこういう教育

聞き取り調査表

活動を理科と絡めてとか総合的な学習の時間と絡めてとか生活科と絡めてやっているから講師の方を招いた勉強を1学期のうちにやらないといけませんよとか、担当者同士はやるんですけど、振り返ってみると私もこの学校に来て、年度始めに職員でこの学校のビオトープ活動、緑化活動についてという風に情報共有する機会は全体を通してはなかったし、これをみるとビオトープの歴史がわかるという資料が明確にあるわけではないというのが現状ですね。学校もいろんなデータが残っているんですけど、データが残っているのを、それぞれ担当しないといけなくなったとか調べないといけなくなった時にデータを探っていくって、あああったあったという感じでやっているのが現状ですね。担任たちは講師の方を招いてビオトープで例えば1年生だったらどんな生き物がいるとか6年生はどんな植物がいるとか、それぞれ講師の方を招いて勉強する機会があるんですが、その調整は教務主任、校務主任がして、実際に担任は教務主任や校務主任が計画した日に、この日に誰々という講師の方が来て生き物や植物の話をしてもらうからということで、子どものコントロールをするのがメインで、子どもたちと同じようにビオトープの説明を聞くという形なので、実際に担任が船島にいるからビオトープだとか周辺の植物に関する知識が高まっていくかということ、なかなかそういうわけにもいなくて、この取り組みに対して子どもたちを上手に、当日コントロールしたり事前にネットで調べさせたりだとか終わった後に振り返りを書かせたりだとかって子どもの状態を整えるくらいで、講師の方と同じようにこれがこうだよという風に緑化のことを伝えられるっていうところまではいかないですね。

・地域の方と協力されている場合、その活動の具体的な内容について

ビオトープの整備がある程度進んでこれを使って勉強をしようという時から、フナビオの会にはお世話になっています。現地に行って実際にビオトープを歩きながら、ここにはこういう植物が育つんだよとかこういう生き物がいるよとか、これはもともと日本の生き物だとか外来種、もともと日本にはいない外から来た生き物だよというのを説明してくれて、子どもたちは比較的興味を持って活動しています。

基本的には、毎回子どもたちがする清掃活動にはビオトープ周辺は割り当ててはないです。一応水ってということもあるので万が一を考えて外しているということもあるんですけど、確実に職員がいる場で、月に1度の委員会活動でやったりだとか、校務主任が施設の管理をするので、校内のいろんな草刈りを頑張るんですけど、その一環でしたりだとか、後は、フナビオの会は広範囲に講師の方がいて、地元の方もいるしわざわざ遠くから来てくださる方もいて、地元の方はビオトープのことを気にしてくださっていて、土日にビオトープが綺麗になっているなって思ったら、その地域の方が綺麗にしてくださっていたりとか、だから地域の方が自主的にやってくくださることもあります。

・ビオトープ活動を持続していくために必要だと思うことについて

大きな話になるんですけど、子どもと職員が愛校心を持つ、自分の学校が好きであることが根本的には大事になってくると思います。自分の学校を楽しい学校にしたい、自分の学校のいいところを残していきたいという気持ちを持たないと、ビオトープを綺麗にしていかなきゃとか、そういう風にはなかなか思えないと思っていて、ちょっとしたことで学校がずっ

聞き取り調査表

と大切にしてきたことが、いろんなちょっとしたきっかけで「そういえばあれ無くなっちゃったよね」というのが学校の現状としてあるので、予算とかそういった難しい問題もあるんですけど、基本的には自分の学校に対する集団への帰属意識というか。ご承知のとおり学校もいろんな行事を削減というか、今までにないような形で簡略化だとか効率化を求められる中で、今まで築かれてきたものを止めるのか続けるのかというのは、結構議論されるんですけど、自分はビオトープは残していったほうがいいと思うんですね。やっぱり子どもたち、このデジタルツールがこれだけ入ってきている中でも、外で自然と触れ合っただけのびのびと遊ぶということは必要なので、子どもたちなりにそういう自然を大事にしたいというところを、この学校のいいところを大事にしたいというところを、そういう気持ちを持てる子を育てることが大事かなという風に思っています。

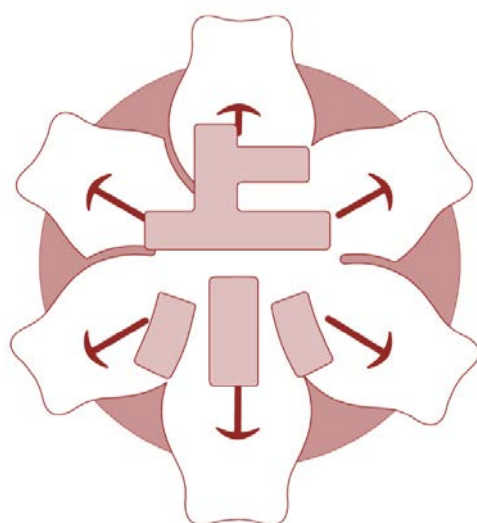
V 学校ビオトープの資料事例

i 上鷹見小学校

令和4年度

学校ビオトープ管理マニュアル

(安全対策対応)



豊田市立上鷹見小学校

学校・園庭ビオトープ設置の意義

全国学校・園庭ビオトープコンクール 2013 全体講評

東京学芸大学名誉教授

帝京短期大学名誉教授

佐島 群巳 氏

学校・園庭ビオトープを設置することの意義について、3つのことを申し上げたいと思います。

1つ目は、学校・園庭ビオトープは、子どもたちの身近にある自然だということです。全国的に、子どもの自然との触れ合いの減少が危惧される中で、まずは身近に自然を確保することが重要です。そうした場があることで、普段の生活の中で子どもたちはさまざまな生きものと出会い、生きものが身近にいることの大切さを学びます。また、自然の美しさや神秘さと出会う機会が増え、感性を豊かにすることができます。さらに、自分の興味関心にあった対象を見つけることができ、主体的なさまざまな活動を喚起することになります。

2つ目は、学校・園庭ビオトープは、『人間力』を育む場になることです。子どもたちに実践を通じて自信を与え、連携協働から人間関係能力を育み、思うようにならないことから忍耐力を身に付けさせます。こうした人間力の形成は、現代社会において大いに求められることであり、今後はこうした教育的価値がさらに着目され、学校・園庭ビオトープの活動のねらいに明確に位置づけられると良いと考えます。

3つ目は、学校・園庭ビオトープは地域づくりの拠点になることです。本コンクールにおいて、参加した素晴らしい実践の多くに、保護者や地域の方々などとの連携協働が見られました。学校・園庭ビオトープを中心に、子どもたちのため、生きもののためにと、地域がひとつにまとまり、自然との共存を目指す新しい地域社会が形成されていました。自治会においても地域の活性化の一環として位置づけている事例もありました。とても素晴らしいことだと思います。こうした活用が全国各地に広がることを期待します。

このように、学校・園庭ビオトープはたくさんの教育・保育力、そして地域を活性化させる力を有しています。今後も、この人間形成の源になる学校・園庭ビオトープがより一層活かされることを願い、私の講評といたします。

学校・園庭ビオトープでは、子どもたちは日常的に自然と触れ合うことができます。そのため、子どもたちの感性がより豊かに育まれます。自然は思い通りになるばかりではありません。考えることで問題解決型の学習が促され、子どもたちの生きる力はますます鍛えられます。そうしたことから、学校・園庭ビオトープはESD（持続可能な開発のための教育）の場として注目されるなど、その活用がますます広がっています。それに留まらず、保護者や地域住民との絆が深まり“まち”全体がいつそう元気になるなど、学校・園庭ビオトープには多くの効果が認められています。

★BIOは「生きもの」で、TOPは「場所」の意味。

BIOTOP「ビオトープ」は、地域本来の野生の生きものたちが生活する場所のことです。

(日本生態系協会 HP より)

本校では、学校前に造成した2つの池と、地域の里山、池、川、田んぼ、湿地などすべてを学校ビオトープにとらえ、命のつながりを意識して、多様な動植物が生息できる環境づくりに取り組んでいる。また、ビオトープネットワークの考えから、かつて本校の校区と一続きであった森林の環境を維持管理している市の施設（豊田市自然観察の森）や地元的环境保護団体「上高湿地を守る会」「大谷山を守る会」の活動フィールドで毎年児童は自然体験を行い、よりよい環境づくりについて考える機会を設定し、それらの環境を目標に、目指すビオトープのイメージをもたせるようにしている。児童は校区全体を「鷹見の里」と名付け、校区の自然を「校区まるごとビオトープ」ととらえている。

学校前の休耕田を借りて造成した2つの池と小川は、自然にまわりの川や池、森などから飛んで集まるトンボを小川や池の目標種に設定して、トンボの楽園を目指して環境づくりに取り組んでいる。羽化や産卵のために草を残す所、開放水面をつくるために草を刈る所、水量の調節をして池の底が見えるようにした所など、多様なトンボが集まるように児童が工夫し、試行錯誤をしながら学習やビオトープ整備を進めている。その結果、トンボは現在までにオニヤンマ、シオカラトンボ、キイトンボをはじめ、14種の生息が確認できた。今後もさらに多くのトンボや生き物に訪れてもらえるようにしたいと考えている。池や小川には14種のトンボの他にも、メダカ、ドジョウ、両生類などの生き物も増えている。ビオトープ整備カレンダーを作成して、児童、教職員、保護者、地域が協力して適切に管理することで四季折々に見られる野草も増え、児童の考えで草地の草丈に変化を持たせることで昆虫の多様性も増した。夏から秋にかけては、様々な種類のバッタも現れ、子どもたちが生き物と触れ合う楽しい場所になっているとともに、バッタやトンボの生き物にとっても居心地の良い生息場所になっている。観察路は、ビオトープに生息する動植物に配慮して、授業での学習や観察以外での利用は控えるようにしている。また、希少種を確認したときや野鳥が営巣したときには、調査・保護のため、ビオトープの一部を、一時的に立ち入り禁止にすることもある。

造成した池はもともと田んぼであったこともあり、田んぼへの用水路を利用して一の瀬川からの水を取り込んでいる。そのため、大雨が降った後などに川から土砂が流れ込み、水路に土砂が堆積して、水が流れなくなってしまうことがある。年に数回、5・6年生が手作業で用水路の土砂を外に出す作業を行っている。また、用水路最上流部の取水口のところにある貯水槽は、保護者や地域の方にも協力をお願いして、年に1回の環境整備作業のときに土砂の取り出し作業を行っている。



<池（きらきら池・どきどき池）の管理>

- ・窒素やリンといった栄養分が流れ込み、水温が上がると藻が発生する。大量に発生すると悪臭が発生し、溶存酸素の低下によって水生生物が死滅することがあるので、こまめに取り除くようにする。木の棒などで巻き取るようにすると、うまく取れる。藻といっしょに水生生物や卵を取ってしまわないように注意する。
- ・池は、多様なトンボを目標種として環境づくりをする。産卵や羽化のために植物を残しつつ、ある程

度の解放水面を作るために草刈りが必要である。春から夏は草の繁殖が早いので、こまめに手を入れる必要がある。水量の調整により、池の底が見えるような場所もつくる必要がある。

- ・ビオトープ内で刈った草は外へは持ち出さず、ビオトープ内に置いておく。置く場所や置き方に変化をつけることで、多様な生き物が利用することが期待できる。いろいろ試してみるとよい。
- ・どきどき池（第2池）の南側は、もともと生き物の最終避難場所として、一番水深を深くつくったので、水の供給が止まっても、最後まで水が残っている場所であった。しかし、現在はきらきら池全体に多くの土砂が堆積し、植物の根も広く張っているため、水がたまらず、どきどき池（第2池）へ水が流出し浸み込んでしまうからだと思われる。
- ・外来種のアレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウは、花が咲く前に、選択的に根から抜き取る。抜いたものはビオトープに放置せず、可燃ごみとして処分する。
- ・きらきら池のオオガハス、コウホネ、どきどき池のスイレンは、増えすぎないように管理する。水面が見えないぐらいに増えた時は、間引きをする。
- ・多様なトンボが産卵に訪れるようにするために、どきどき池の北側半分はコガマをすべて刈り取り、開放水面を確保する。枯れ草の中に産卵する種もいるので、刈り取った草をすべて持ち出すことはせず、水辺に少し束ねて置いておくようにするとよい。
- ・アオミドロ（藻）が増えすぎると、日光が水面下に届かなくなり、水中の生物に影響が出る。また、メダカなどの小さな生き物は藻に絡まって動けなくなり、死んでしまうこともある。水の富栄養化、直射日光が当たることなどが原因だが、トンボの産卵のために意図的に開放水面を作っているため、日光が直接当たる場所ができてしまうことは仕方がない。アオミドロが大量に発生した場合は、熊手や木の棒で巻き取るようにして取り除く。
- ・一部土砂が堆積して水がない場所があるが、あえて土砂を取り除くことはせず、湿地帯として維持管理しておくことにする。
- ・令和3年、池に土砂が堆積して水深が浅くなってしまったので、重機を使ってきらきら池に深みを作ってもらった作業を行った。橋が老朽化したため、一部架け替えを行った。

<小川の管理>

- ・小川もオニヤンマの産卵場所にするため、草刈りをして一部水面が見える場所を作るようにする。
- ・流水の状態を維持するためには、絶えず適度の水を供給する必要がある。水が浸み込まないようにするために、遮水効果のあるゴムシートなどを敷くことを検討してもよい。
- ・落ち葉は水の流れを止めてしまうため、多いようなら取り除く必要がある。取った落ち葉は風などで再び小川に入らないように、置き場所を考える。
- ・小川の河床が単調なので、所々に深みを作って流速に変化をもたせたり、石を配置して水生生物の隠れ場所を創出したりするとよい。設置した石は、生き物が定着するまで安易に位置を変えないようにする。

<田んぼの管理>

- ・以前は、冬も水を抜かない「冬水田んぼ」にして管理をしていたが、現在は取水口をふさいでしまったため、草地となっている。もともと田んぼであったため、大雨が降ったあとは、水が地中に蓄えら

れ、一部湿地化する場所もある。希少な野草も数多く残っているので、草を刈るときは手作業で、外来種や増え過ぎた野草のみを選択的に刈り取るようにする。

- ・中央に水路を作るなどして、水が流れ場所を作ることで、トンボの種が増えることが期待できる。

<草地の管理>

- ・バッタ類は種によって好む草丈が違っているので、草丈に変化をつけることでさまざまな種のバッタを呼び寄せることができる。
- ・わくわく山と池周辺を行き来する生き物もいるので、移動経路の草をすべて刈り取らないように注意する必要がある。
- ・外来種のアレチヌスビトハギは、種ができると種にトンボの成虫の羽がついてしまい、動けなくなって死んでしまう。葉の形に特徴があり、背が高く目立ちますので、紫の花をつける前に抜き取るようにする。種をつけたアレチヌスビトハギはビオトープ内に放置せず、焼却処分（市の可燃物回収で搬出）をする。
- ・ハルジオン、ヒメジョオン、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなどは、増えすぎるようなら適度の抜き取るようにする。
- ・草地は、生き物にとって大変貴重な生息場所である。草地を適切に管理していることが大切である。
- ・駆除を目的に刈り取った外来植物はビオトープ内に放置せず、焼却処分（市の可燃物回収で搬出）します。刈り取った在来植物についてはすべて処分せず、他の植物の生育に影響のない程度ビオトープ内に固めて置くと、生き物が利用する。

<樹林（わくわく山）の管理>

- ・以前は里山として管理されていたが、利用されなくなってからは竹が繁殖して、やぶの状態となった。20年前に地元自然愛護会と学校が協力して、竹を伐採し、一時は以前の里山の状態を取り戻したが、現在は、また竹が繁殖しつつある。ササユリ、ギンリョウソウ、その他多様な野草が生息する場所なので、樹林内には必要以上に入らず、現場発生の落ち葉などを取り去らず、均等にならしておく。
- ・樹木は樹冠の大きさまで根をはっているので、樹木のまわりを踏みつけないように気を付ける必要がある。
- ・樹木に害虫が発生した場合も、農薬の使用は厳禁である。思ったほど害虫駆除の効果がない上、貴重な動植物、土の中の生き物、水の中の生き物も死滅させてしまう可能性がある。害虫によって児童に危害が及ぶ心配がある場合は、害虫発生について警告するか、発生時期だけ危険場所には近づかないようにする。
- ・植栽木は、深植えになっていることが多くあります。この場合、根に酸素がいかず、発育不良になったり、樹勢が弱って、病虫害の被害を受けやすくなったりします。深植えかどうかは、幹の地面近くの状態を見る。また、植栽はわくわく山の西側にされており、日照不足などで生育は遅い。
- ・アベマキやクヌギなどの落葉樹が適度にあり、落ち葉を供給し、豊かな土壌にしている。落ち葉かきは山道のみ行い、ほかは根回りに残しておく。
- ・一部を池の北側付近に運び、池の底に堆積した土砂と合わせて、落ち葉積みを作っている。腐葉土となり、カブトムシなどの幼虫のすみかとなる。

- ・わくわく山西の山麓に、130周年記念としてイロハカエデとソメイヨシノを植樹している。
- ・令和元年度に、わくわく山の西に千本芝桜を植樹する。
- ・増え過ぎた竹は冬に地域のボランティアの方の協力で伐採し、炭窯で竹炭を作り、川の浄化などに活用している。
- ・令和3年度、学校創立150周年記念として、ウメ（白加賀）を2本植樹する。早ければ2年で実がなる。根が定着するまでは、雨の少ない時期は水やりをやる必要がある。

<水路>

- ・ビオトープの池は、以前は田んぼであったため、田んぼに水を供給する農業用水路を利用して、水を入れている。
- ・上高町の清通寺前付近に、一の瀬川の水の取水口がある。大雨で川の水が増水したときには、取水口から砂が入り込まないように、蓋を閉めておく必要がある。
- ・土砂が水路に流れ込んだとき、土砂を取り除くために、水路の上流部に4か所切れ込みが作ってある。土砂の堆積の状況によって、木の板を外し、水流で土砂を川へ押し出す。



- ・こども園北に、分水弁があるので、ビオトープと地元の農家の方の田んぼの両方に水が流れるように調整をする。草や枝が管に入口をふさいでいることもあるので、時々取り除く必要がある。



- ・池の入り口の升には、かごが設置してある。落ち葉や草が溜まっているようなら、取り除く。現在は、児童環境委員が毎朝当番で確認している。



【学校ビオトープの学習や活動での安全対策】

学校ビオトープを活用した学習や活動は、多くの教育的意義と効果があります。一方で、ビオトープが地域のありのままの自然を再現することを目的に整備されたことから、さまざまな危険性も含まれている場所でもあります。事故を防ぐことは大切ですが、事故を恐れるあまりに危険なことをすべて取り除いてしまえば、学校ビオトープでの学習や活動の魅力が失われてしまいます。安全に対する知識や感覚を、教師も児童も学習や活動を通して身に付けることが大切です。以下にビオトープでの学習や活動で特に気を付けたい動植物について、生態、応急処置、回避策をまとめました。児童自身が、自然の中に潜む危険を未然に察知し、回避するために必要な知識・直感を体得していくこと、そして「すべての活動は自分自身に責任がある」という意識を育てることが重要です。

<スズメバチ>

野外の生物の中で最も危険なのがスズメバチ。その被害は全国各地に及び、ハチ毒に対してアレルギーを持っている人が、国内では毎年30～50人前後、命を落としている。

○オオスズメバチ（よく似た種に黄色が多いキイロスズメバチがいる）

日本最大種のスズメバチで、体長3～4cm。これを含め国内には7種類のスズメバチ属が生息。都市部や人家周辺、平地、山麓、低山の雑木林などでよく見られる。刺されると激痛を感じ、痛みは時間の経過とともに増す。幹部は熱を持ち、数分のうちに大きく腫れ上がる。なかには発熱する人もいる。働きバチが巣づくりをする7から11月の間が特に注意が必要である。



【応急処置】

ハチの毒は水に溶けやすいので、刺されたらすぐに傷口をもむようにしながら流水で洗い流す。傷口から毒液を絞り出すようにすると効果的。さらに抗ヒスタミン剤を含んだステロイド軟膏を塗っておく。ただし、ハチ毒に対してアレルギーを持っている人は「アナフィラキシー・ショック」に陥ってしまうことがある。全身の震え、嘔吐、下痢、ショック症状、血圧の急激な低下、意識不明などの症状が表れたら、一刻も早く病院に連れて手当てが必要である。

【回避策】

ハチの巣を見つけたら、絶対に近づかない。うっかり近づくと、ハチはアゴをカチカチ鳴らしながら周囲を飛び回って威嚇してくるので、ゆっくりその場から離れる。もしハチが襲ってきたら、全力で走って逃げる。樹液や水辺に来るハチは、積極的に襲ってくることはないが、手で追い払ったりせず、近づかないようにする。黒いものに襲い掛かる習性があるので、黒い服は避け、帽子をかぶる。整髪料や香水はハチを誘引する恐れがある。肉食性なので弁当や食べ物のおいさに誘われてくることもある。あわてず弁当のふたを閉めてじっとしているといなくなる。スズメバチのほかに、アシナガバチ、ジバチにも同様に注意する。



アシナガバチ

<マダニ> (地域によってはダニの1種のツツガムシ)

人知れず忍び寄る野山の吸血生物。吸血されても気づかないことが多く、満腹になると自然に脱落する。怖いのは感染症で、咬まれたら数週間、体調の変化に注意が必要。

○マダニ

体長約2mm。山林、笹やぶ、草地などに分布。動物の呼気に反応して吸着・吸血する。脱後は痛みや違和感が生じ、幹部が赤く腫れる。ときには頭痛や発熱、筋肉痛などを伴う。マダニはライム病を媒介し、感染すると関節炎や角膜炎、顔面神経麻痺、脳炎などの症状が表れる。

【応急処置】

吸着して間もないダニは、ピンセットや指でつまめば簡単に取れる。その後は、傷口を消毒して、抗ヒスタミン系のかゆみ止めを塗っておく。吸着して時間が経っている（ダニが膨らんでいる）場合は、無理に取ろうとすると口の部分が皮膚に残ることがあるので、すぐに皮膚科の病院を受診する。

【回避策】

素肌の露出を抑えた服を着用し、露出部や服、靴に虫よけスプレーを散布しておく、ある程度の予防効果がある。



<ドクガ>

幼虫も成虫も毒針毛を持ち、刺されるとひどいかゆみが長く続くのがドクガ。低山や山麓の雑木林、街の街路樹や垣根などに生息し、幼虫・成虫ともに大発生することがある。

○ドクガ

北海道から九州まで広く分布する。体長は終齢幼虫で4cm、成虫で開帳2.5~3.5cm。幼虫は体全体に、成虫は尾端に毒針毛を持ち、これが皮膚に刺さると強いかゆみが起こる。幹部は炎症を起こし、発疹が現れじんましんのように広がる。ひどいときには全身症状となる。かゆみは激しく、2~3週間続く。雑木林ではサクラ、クリ、コナラ、クヌギ、マツなど、街路樹や垣根ではツツジ、ツバキ、サザンカ、チャナに多く生息するが、身近な木にはほぼいると考えてよい。



【応急処置】

ドクガに触れてしまったときには、絶対にかいたりこすったりしてはいけない。流水で洗い落とすか、セロハンテープを幹部に貼ってはがすかして、できるだけ毒針毛を取り除く。そのあとに抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を塗っておくが、炎症がひどい場合は抗ヒスタミン剤を内服する。チャドクガ幼虫やマツカレハ幼虫などの場合も同様に処置を行う。イラガの幼虫に関しては、抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を塗るだけでよい。

【回避策】

幼虫も成虫も、触れないようにするのが一番の予防策。肌が露出しない服を着用する。



イラガの幼虫

<ヘビ> (日本で毒を持ったヘビは、ニホンマムシ、ヤマカガシ、ハブの3種)

ニホンマムシとヤマカガシはおとなしいヘビなので、人間から手を出さない限り危害を加えられることはまずない。ただしハブ(奄美諸島、沖縄諸島に分布)は攻撃性が強いので注意が必要である。

○ニホンマムシ

茶色で頭が三角、銭模様が特徴。草むらややぶに潜んでいる。自衛範囲内に侵入すると、音もなく飛びかかる。毒牙は上あごの一番前、左右1本ずつ。毒の主成分は出血毒で、かまれるとひどく染みるような痛みと、かなりの腫れを生じる。



○ヤマカガシ



口内の一番奥に毒牙を持つ。毒は溶血性の猛毒で、赤血球を破壊し血液の凝固を妨げ、全身の皮下出血や脳内出血、腎不全などを引き起こす。首筋にも毒腺があり、不注意に首をつまむと、毒液を飛ばしてくる。これが目に入ると強度の炎症と激痛をもたらす。

【応急処置】

動き回らず安静にする。心臓に近い部分で軽く止血して、毒が全身に回らないようにする。ポイズンリムーバーがあれば、それで毒を吸い出す。できるだけ早く病院へ連れていき、手当てを受ける。

ヤマカガシは、皮下出血、血尿、血便、歯ぐきや古傷からの出血などの症状が表れたら、病院で抗毒血清を打ってもらう。毒液が目に入ったら、流水で洗い流して、すぐに眼科で治療してもらう。

【回避策】

草むらの中を歩くときには、先に棒などで地面を叩くなどして確認し、注意深く行動する。大きな岩の間や水辺の草の間には、むやみに手を突っ込まないこと。ヘビを見つけたときには50cm以内には近づかず、フリージングをして放っておけば、ヘビのほうから逃げていく。

<毒を持たないヘビ>

毒は持たないがかまれることはありますので、注意が必要です。



アオダイショウ



ジムグリ

ヒバカリ



シマヘビ



<ヌカカ、ブユ、アブ>

いずれも刺されると激しいかゆみが生じ、ときには何週間もかゆみが続く。人によってはアレルギー症状を起こすこともある。

○ヌカカ

体長 1.3~2 mm。吸血昆虫で、防虫網の網の目もくぐり抜けてしまう。池、草地、森など、どこにでも生息する。春~秋にかけての夕暮れに活動する。かゆみは1週間ほど続く。

○ブユ (ブヨ)

体長 2.5~3 mm。ハエに似た吸血昆虫。小川周辺に多い。刺されてしばらくすると激しいかゆみが起こる。



ブユ

○アブ

体長 10~30 mm。ハチに似た吸血昆虫。小川、田んぼ、池などが発生源。刺された瞬間に激しい痛みがあり、出血も伴う。幹部は赤く腫れ、やがてかゆみが激しくなる。



アブ

【応急処置】

ヌカカとブユは、刺すときに痛み止めの物質を出す。このため、刺されても弱い痛みをチクリと感じる程度で、気付かないことの方が多い。逆にアブは、刺されると瞬間的に強い痛みを感じる。これらの吸血昆虫に刺されたときはポイズンリムーバーなどで毒を吸い出し、抗ヒスタミン剤を含んだステロイド軟膏を患部に塗っておく。汚れた指でかくと化膿するので、できるだけ我慢して、軟膏を塗って治すようにする。

【回避策】

皮膚が露出しないような長袖、長ズボンで活動する。あらかじめ虫よけ薬を塗ることもよいが、有効時間がある。薬に過敏に反応してしまう人もいるので、スプレー式のものには人のいない外で使用するようにする。

<とげのある植物>

作業をするときには、長袖・長ズボン、厚手の手袋で行うようにします。



イヌザンショ

ススキ



ナadeshikurokumi

ノアザミ



ピラカンザ

ヤエムグラ



<ウルシ、ハゼノキ、ヌルデ>

先駆（パイオニア）植物とも呼ばれ、雑木林の林辺を伐採して明るい環境になると、まず生えてくるのがこれらの種である。道沿いの垣根の間や公園などにも普通に見られる。秋から冬にかけては茎や葉が赤くなり目立つが、春から夏は他の植物に紛れて分かりにくいこともある。道を歩いていて知らずに肌が触れてしまうこともあるので注意が必要である。春から夏も茎が赤くなるアカメガシワという種があるが、こちらはかぶれることはない。

○ヤマウルシ

山地に分布する落葉低木。樹木全体に刺激毒を持つが、特に樹皮から分泌されるウルシオールが危険である。触れると皮膚に炎症を起こす。そばを通ったり、燃やした煙が皮膚に触れたりしただけでかぶれる人もいる。1年を通して危険である。樹木に巻き付いて生えるつる性の植物のツタウルシは、ヤマウルシよりもさらに強いウルシオールを全身に持つ。



○ハゼノキ（ヤマハゼ）

ヤマウルシ同様の環境に生える。ヤマウルシと混在することもある。触れると皮膚に炎症を起こす。



○ヌルデ

ヤマウルシやヤマハゼほどではないが、触れると皮膚に炎症を起こすことがある。葉にはよく虫こぶができる。

【応急処置】

ウルシの仲間が持つ毒成分は、ウルシオールやヒドロウルシオールなどである。症状は個人差が大きいですが、樹液が皮膚に触れるとかゆみを伴う炎症や水疱が生じ、のちに激痛に襲われることもある。また、ウルシ毒に対してアレルギーを持っている人は、体全体にかゆみや腫れが広がり、重症化することもある。これらの植物に触れてかゆみやかぶれが生じたら、かいたりこすったりせず、患部を流水で洗い、抗ヒスタミン剤入りの副腎皮質ホルモン軟膏を塗っておく。そのうえで早めに皮膚科の病院で治療を受ける。

【回避策】

皮膚が露出しないような長袖、長ズボンで活動する。植物の葉や茎の特徴を図鑑などで確認し、見つけたら近づかないようにする。

参考図書

「レスキュー・ハンドブック」藤原尚雄・羽根田治著 山と溪谷社

「ネイチャーゲームリーダーハンドブック理論編」公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

「葉・実・樹皮で確実にわかる樹木図鑑」日本文芸社

「野外における危険な生物」（財）日本自然保護協会

【講師一覽】

上 鷹 見 小 比 小 池 年 間 整 備 カ レ ン ダ ー

豊 田 市 立 上 鷹 見 小 学 校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ときどき池	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) 池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保) 池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1	池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1 泥上げ(泥が多くなったらとぎ)	増えすぎたアオカナダモの間引き	増えすぎたアオカナダモの間引き	増えすぎたアオカナダモの間引き	マコモ、ヨシ、ガマなど草の間引き(開放水面7割確保)
きらきら池	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) 池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) アオミドロの除去	コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保) 池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1	池の中の落ち葉すくい(半分程度) * 1 泥上げ(泥が多くなったらとぎ)	きらきら池からとぎとき池の水路、土留め、観察路などの補修			コウホネ、大賀ハスなどの間引き(開放水面7割確保)
小川	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	増えすぎた草の抜き取りと水面を覆う草の間引き	水面を覆う草があれば間引きをする	泥上げ	落ち葉の取り除き	落ち葉の取り除き	水面を覆う枯草の刈り取り	水面を覆う枯草の刈り取り
草地	枯草の刈り取り	増えすぎた種があれば間引きを検討	外来種(アレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなど)の抜き取り	外来種(アレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなど)の抜き取り * 3	外来種(アレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなど)の抜き取り	外来種(アレチヌスビトハギ、アメリカセンダングサ、セイタカアワダチソウなど)の抜き取り * 4			枯草の刈り取り	枯草の刈り取り	枯草の刈り取り	枯草の刈り取り
わくわく山	枯草の刈り取り	観察道から観察し、樹林内にはできない						落ち葉掻き	落ち葉掻き 枯草の刈り取り	枯草の刈り取り	竹の伐採	枯草の刈り取り
水路	一の瀬川取水口の閉鎖(川の水量が多いときは口を狭く)	分水井の調整		用水路の砂・泥出し	貯水槽の砂・泥出し			用水路の砂・泥出し				

- * 1 水の中の落ち葉の間や下にはいろいろな生き物が棲みついている。2日間ほど水辺に広げておけば自分で水の中へ戻っていく。取り除いた落ち葉は集めておくと、生き物の産卵場所、隠れ家になる。生き物の餌にもなる。
- * 2 きらきら池のコウホネ、大賀ハスは増えすぎないように間に間引いて管理する。ときどき池の半分は、抽水植物を刈り取り、開放水面を確保する。
- * 3 アレチヌスビトハギの除去は7月半ばぐらいまで行う。
- * 4 草丈に変化をつけることでハダツ類の種が増える。



ガマ 【外来種】

チゴザサ 【外来種】

ヨシ 【外来種】

オオガハス 【外来種】

スイレン 【外来種】

コウホネ

アメリカセンダングサ

ブタクサ

セイタカアワダチソウ

アレチヌスビトハギ

オオカナダモ

ミジバハ

令和4年度 ビオトープを活用できる各教科・特別活動・道徳の単元・題材一覧

豊田市立上鷹見小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年生	<p>【生】からごうどなかよし</p> <p>【国】みんなにはなそう</p> <p>【生】いきものとなかよし</p> <p>【生】トヨタの森学習</p> <p>【音】かこう、かえのがつしやう</p>	<p>【国】みんなにはなそう</p> <p>【生】いきものとなかよし</p> <p>【生】トヨタの森学習</p> <p>【音】かこう、かえのがつしやう</p>	<p>【生】はなややさいどなかよし</p> <p>【道】つばめ(自然アザミ)</p> <p>【音】かたむつむり、ぶんぶんぶんぶん</p> <p>【図】みてみてあね</p>	<p>【国】えにつきをかこう</p> <p>【図】べつたんこころ</p> <p>【生】いきものとなかよし</p> <p>【音】だんぐりさんのあうち</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
2年生	<p>【国】たんぽぽのひみつをみつこう</p> <p>【生】春のあそび</p> <p>【音】おはなみす</p> <p>【道】大きくくったね(生命の尊さ)</p>	<p>【国】かんざつしたことを書こう</p> <p>【生】春のあそび</p> <p>【生】トヨタの森学習</p> <p>【図】ひかりのプレゼント(造形)</p>	<p>【国】こどほで絵をつたえよう</p> <p>【生】生きていくつて</p> <p>【音】虫のこえ</p> <p>【図】ひみつのたまご(絵)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
3年生	<p>【国】すしせんらのラッパ</p> <p>【社】学校のまわり</p> <p>【理】生きもののはた</p> <p>【音】春の川</p> <p>【図】しぜんの色(鑑賞)</p>	<p>【国】自然のくし絵</p> <p>【算】表とグラフ</p> <p>【理】こん虫の育ち</p> <p>【音】ヤゴ救出大作戦(木の棒立て)</p> <p>【理】トヨタの森学習</p>	<p>【国】調べて書こう、わたしのレポート</p> <p>【理】こん虫の育ち</p> <p>【音】小鳥のために</p> <p>【図】私の6月の絵(絵)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
4年生	<p>【算】折れ線グラフ</p> <p>【理】春の始まりの生物のようす</p> <p>【理】天気と気温</p> <p>【音】さくらさくら</p> <p>【図】しぜんの色(鑑賞)</p>	<p>【国】ヤドリとインギンチャク(相利共生)</p> <p>【理】季節と生き物</p> <p>【音】ヤゴ救出大作戦(木の棒立て)</p> <p>【道】小さな草たち(鑑賞)</p>	<p>【国】みんなて新聞を作ろう</p> <p>【音】いろいろな木の実</p> <p>【図】まぼろしの花</p> <p>【道】カメの横断(動物変遷)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
5年生	<p>【国】動物たちが教えてくれる海の中の</p> <p>【図】絵の具スケッチ(絵)</p>	<p>【国】環境問題について報告しよう</p> <p>【理】植物の発芽と成長</p> <p>【総】ヤゴ救出大作戦(木の棒立て)</p> <p>【道】命(生命の尊さ)</p>	<p>【国】新聞記事を読み比べよう</p> <p>【理】植物の成長と水の関わり</p> <p>【理・総】上高湿地学習会</p> <p>【道】緑の圃エマーター(自然愛護)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
6年生	<p>【国】イースター島にはなぜ森林がないのか</p> <p>【理】私たちの生活と環境</p>	<p>【理】植物の成長と日光の関わり</p> <p>【総】昆虫のすみか</p> <p>【図】光の形(立体)</p> <p>【道】命のアサガオ(生命の尊さ)</p>	<p>【理】植物の成長と日光の関わり</p> <p>【理・総】上高湿地学習会</p> <p>【道】緑の圃エマーター(自然愛護)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>	<p>【生】あきとあそぼう</p> <p>【生】はる なつ あき</p> <p>【音】はる なつ あき</p> <p>【図】こぼこぼのつて(造形)</p>
環境委員会	<p>ビオトープ観察日記(通年)</p> <p>【生】アイスター島にはなぜ森林がないのか</p> <p>【理】私たちの生活と環境</p>	<p>ネイチャービゴ(春編)</p> <p>オイスカ「子供の森」計画協力(書き損じハガキ回収)</p>	<p>サユリ集会</p>	<p>ネイチャービゴ(夏編)</p>	<p>ネイチャービゴ(秋編)</p>	<p>ネイチャービゴ(冬編)</p>	<p>ネイチャービゴ</p>	<p>ネイチャービゴ</p>	<p>ネイチャービゴ</p>	<p>ネイチャービゴ</p>	<p>ネイチャービゴ</p>	<p>オイスカ「子供の森」計画協力(書き損じハガキ回収)</p>	<p>オイスカ「子供の森」計画冊子</p>

※国語:東京書籍 社会:東京書籍 算数:啓林館 理科:大日本図書 音楽:教育芸術社 道徳:日本文教出版(愛知県教育振興会)

V 学校ビオトープの資料事例

ii 桐朋学園小学校

桐の庭だより

編集・発行
桐明学園小学校
理科準備室
2021年
4月9日発行
第54号

みや林には光が必要です



3月26日 朝



3月29日

三月十六日(金) 二十七日(土)の二日間、みや林保育ワークショップを行いました。

どうしてもやってみたいという二年生から卒業式を終えたばかりの六年生、そして卒業生の桐朋中学生、三十期や四十六期のOBの方々も来て下さり、二日間で約一〇〇名が参加してくれました。

学校の樹木管理をお願いしている造園業者の藤紋から四名の方がいらして下さり、雑木林の説明や作業の方法を教えてくださいました。

今回は、みや林北側のアズマネザサを刈る作業を中心に行ないました。作業後は、写真上のように林内の風通しがとてもよくなり、明るくなって、地面まで日光が差し込むように

なりました。これで下草が育ち、まだ細いクヌギやコナラも光を浴びて大きく育ちます。アメリカンスコップで五十センチの穴を掘り、水平器を使って杭をまっすぐに打つ方法を全員が挑戦し、柵作りをマスターしました。二日目にはロープも張りました。みんなで作った直した柵なので、杭やロープに乘らないようにしましょう。

また、一日目には飼育小屋周辺の土壌をやわらかくして水の浸透をよくする作業、二日目には電動ドリルを使った杭の穴あけ作業、増えすぎたネズミモチの木の伐採に挑戦してくれた人もいました。

普段は使うことのないプロの道具を使ったり、木の切り方や道具の使い方のコツなども造園業者の方から聞くことができました。二日目午後には、四十六期OBの方から桐朋で過ごした日々やみや林の思い出のお話を聞きました。

授業ではできないことがたくさんあって、「楽しかった」「またやりたい!」と言ってくれた児童や保護者の方も多かったです。今回参加できなかった方は、次回ぜひ御参加ください。

今回は感染予防対策をした上で、人数制限をして実施しました。私たちの大切にしていくみや林を通して、多くの

在校生、保護者、卒業生が集まれる場をこれからも作っていきたいと思います。



アズマネザサを刈る!



⇒ 最後には子どもだけでもできました



⇒ 五十センチの穴を掘るのは大変。この作業を通して、杭をたおしたりロープにすわる人がなくなるというねと、みんな話していました。



これは、タケ?

みや林の北側にたくさん生えていたアズマネザサ。地面の下の根でどんどん広がって、群生します。直径二センチくらい、高さは三〜四メートルにも伸びるので、昔は釣りの竿やかご作りに使われていたそうです。ところで、タケとササの違いは知っていますか? タケは、①茎が伸びると皮がはがれる②一つの節から枝が二本出る。ササは、①茎が伸びても皮が残る。②一つの節から枝が五本六本と出る。

アズマネザサは、節から枝が三〜七本出ているのでササの仲間です。四年くらいで一本のアズマネザサは枯れます。一つの葉の寿命は一年くらいで、春と秋に一部が落葉します。タケは数十年に一度しか花が咲かないと言われますが、アズマネザサの花は時々見ることができ、四月ごろにはイネに似た穂が出ることもあるそうです。学校内には、同じくササの仲間のメダケ

ササとタケのちがいは知っていますか? くさが伸びても皮が残っているのは〇〇。〇〇はササかタケか? みや林へ行ってみよう!



クマザサ

があり、直径は二〜三センチですが、高さは八メートルにもなります。アズマネザサやメダケのように細く群がっているタケのことを「篠竹」と呼ぶこともあります。

みや林にあるクマザサは、漢字で「隈笹」と書き、冬に葉のまわりの部分が白く隈取りされるのが名前の由来です。隈取りとは、濃淡や影をつけて、境目をつけることです。白くぬつた顔に筆で線を引き、片側を指でほかす歌舞伎の化粧法も隈取りと言います。

クマザサは寒さに強く、高山にも群生しており、冬眠前のクマも大量にクマザサを食べると言われます。クマザサには薬としての働きもあり、漢方薬として使われるほか、冬眠中のクマの血液をきれいに保つてくれるそうです。健康にもよいと言われ、クマザサ茶も市販されています。なかなかおいしいですよ。

桐の庭だより

編集・発行
桐明学園小学校
理科準備室
2022年
12月13日発行
第65号

生きものを大切にするととは…

どんな生きものにも命があり、たとえ小さな命であっても大切にしたいと、桐朋生であれば誰もが思っているでしょう。小学校の先生たちも、桐朋の植物・生きものを大切にしたい、その為に行っていることを考えています。

今回は、植物・生きものを大切にすることについて一緒に考えてみましょう。スズメバチに殺虫剤をかけたり、ネズミを捕まえて引き取ってもらっていることをかわいそうだと感じている人もいます。その気持ちもわかります。しかし、桐朋の自然を大切に考えている先生たちが、なぜそのようなことをするのかを知った上で、みなさんものように桐朋の自然や生きものを大切にできるか、考えてみてください。

オオスズメバチ

この秋もオオスズメバチが多く、十月にはミニみや林が立ち入り禁止となりま



スズメバチ、こわいけれど、姿はカッコいい！

した。学校には多くのクヌギ・コナラの木があります。夏から秋にかけて甘い樹液を出すクヌギに、においに誘われた多くのスズメバチがやってきます。校内に巣はなく、学校外から樹液を吸いに来ています。オオスズメバチは、攻撃性も毒性も特に高いです。もし、何も対策をせず増え続ければ、みんなが外で安心して遊ぶことができなくなりそうです。

ネズミ

みや林周辺でネズミを見かけることが増えていきます。

ハムスターなどネズミの仲間、目がクリっとしていて、とてもかわいいですね。しかし、野生のネズミは、体の表面や体内に多くの菌を持つっており、人体に影響を及ぼすことがあります。特にネズミにかまれると感染症を起すので、近づかないようにしましょう。



クマネズミは木登りが得意で、住宅2階に入りこむ場合も…

学校で見かけるのは、ドブネズミとクマネズミです。ドブネズミは縄文時代、クマネズミは弥生時代から日本に定着しているネズミですが、環境省による生態系に被害を及ぼす恐れのある外来種リストにあげられています。小笠原諸島などでは、鳥類や植物にも被害を及ぼし、絶滅させてしまう可能性がありますと言われ、対策が行われています。

外来種

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物を外来種と言います。環境省が定めた「外来生物法」では、日本の外から持ち込まれた外国産種の生物が指定されており、明



国立でも時々見かけるハクビシン
神奈川県より

治時代以降にやってきたものが主な外来種の対象になっています。クローバとして知られる「シロツメクサ」はどこにでもありますが、実はこれも外来種です。ということは、外来種がすべて悪者で、排除する必要があります。国立環境研究所の生物・生態系環境研究センターの五箇公一さんは、インタビューの中でこのように話しています。

「生物の数が増えすぎたりして、そのバランスが崩れることで、生態系や人間社会に悪影響を及ぼすのであれば、外来種、在来種に関係なく、そのための管理が必要である。熊、イノシシ、鹿、ハクビシンなどの害獣も、外来種と同様に生態系管理の一環としてとらえる必要がある。」

また、「在来種の生態系を次世代に残すべきという自然観を主張するのであれば、それはひとつの正義であり、外来種だって生き物、その命をむやみやたらに殺すのはどうかという人がいれば、それもひとつの正義になる。生物という命の問題である限り、何が悪いとか正しいとか簡単に判断できる話ではない」と難しさを指摘しています。

ペット

外来種などの問題は、人によって引き起こされています。ペットとして家で飼われていた生きものが、世話できずに自然に放されて増えたりした外来種もあります。その中の一つ、ミシシッピアカミミガメは動きも素早く、食欲おう盛の為、増えやすく、在来種のインガメのすみかやえさをうばうだけでなく、池や川の環境を変えてしまします。ペットだったアライグマも農作物を食べつくしたり、建物を傷つけることから、害獣と言われています。ペットを飼っている人は、最後まで責任を持って飼育し続けることが、自然を守るために大切なことです。



10年前卒業生からちのドキを引きついで、うがモトヒョウモン

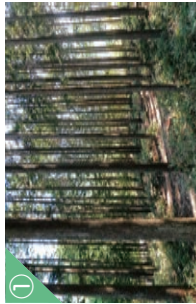
答えのない問題

学校の勉強とちがって、答えはありません。事実や理由・背景を知り、自分なりの考えを持つことが大切だと思います。あなたはこう考えましたか？

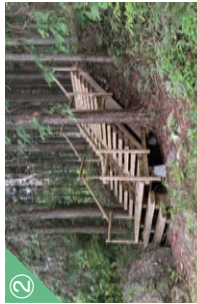
VI 「学びの森」概要説明書

学びの森とは

【場所の説明】



「ヒノキ林エリア」
加子母の林業を学べる
ヒノキの人工林が広がっている。2022年に初めて間伐がされた。



2020年に名古屋工業
大学が製作した大階段
がある。「ヒノキ林エリ
ア」には土留め階段も
設置されている。



「里山林エリア」
樹木名プレートを製作し
た多種多様な樹種が広
がっている。



「湿地のビオトープエリア」
湿地を踏み荒らさずに歩
くための木道が設置されてい
る。ハッチョウトンボとい
う珍しいトンボが観察できる。

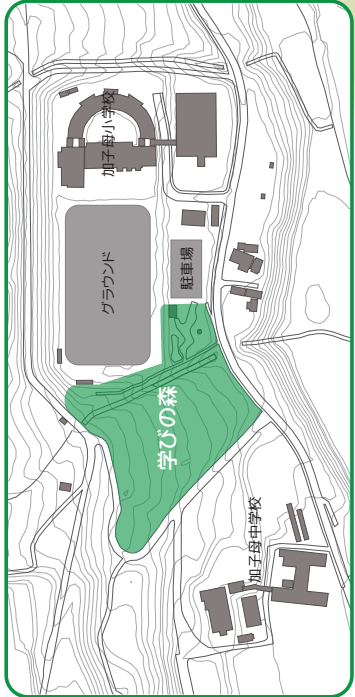


「水辺と草はらのビオトープエリア」
花や実をつける植物だけでなく、
カエルや昆虫なども棲んでいる。



2つのビオトープエリア
では季節に応じて様々な
種類の生き物を観察
できる（左写真は湿地
にて撮影）。

【学びの森全体図】



【活動年表】

年	月日	活動内容
2004	7/4	こぶしの会 森林教室～森の宝探し～
	7/31	学校林下草刈り
	8/8	小・中学校と青年団とて森の基地づくり ～使われなくなった小舎を改修～
	8/19-8/30	加子母木工塾夏季実習 ～森へ入るきっかけづくり～ 5大学が階段やデッキを作成
	8/21	中1 放課後に挑戦 ～ふるさと学習の一環で森づくりから挑戦～
	8/28	森で遊んだことほとんどない学生と子どもたち が森へ！森で遊ぼう！
	9/9	小3 昆虫を調べよう（理科）
	9/28	小1 ぼくらの学校林で遊ぼう！（生活科）
	10/6	小4 涼しくなって生き物の様子はどう？（理科）
	10/28	小4 リサーチ 加子母の山（総合学習）
11/6	こぶしの会 森林教室～色い遊ぼう！～	
12/16	小4 リサーチ 加子母の山（総合学習）	
2018	7/1	地域の専門家を講師としてビオトープ環境整備 池のカマユリ・丸太井桁と流木の設置
	7/19	小4 夏の生き物観察ワークショップ ～小学校のビオトープにはどんな生き物がいるか観察してみよう～
2019	11/1	小4 秋のビオトープ観察会
	6/29	ビオトープ環境整備 ガマや草木の刈り込み
	7/12	小4 植物観察ワークショップ
	8/1	里山林環境整備 草刈り 加子母木工塾 橋の改修
	10/18	里山林環境整備 枝打ち
10/23	小3 樹木観察と樹木の名札づくりワークショップ	
2020	11/8	小4 秋のビオトープ観察会 樹名プレート設置
	9/24	小4 みんなの森を作ろう 大階段・木道・土留め階段制作ワークショップ
2022	10/16	ビオトープ池の橋制作
	10/23	小4 みんなの森で遊ぼう 植物ワークショップ
10/4-19	小1・4 間伐を学ぼう 間伐前後の学びの森の見学（4・12・19日） 間伐材を使ったモルツ作り・遊び（18日）	

VII 加子母小学校教員へのアンケート用紙

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他（もし、ありましたら記述お願いします）
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。
- 6-2 5 で「はい」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
その他（ ）
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人との交流 その他（もし、ありましたら記述お願いします）
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

VIII 加子母小学校教員のアンケート結果

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
 ※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 3 安全性 4 階段等の耐久性 7 子どもが感じるワクワク感 2 学びの多さ
 その他 ()
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
 はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

1. 2年生 生活科・生物の採集について
 3. 4年生 理科・山・木・森の大切さ
 5. 6年生 社会 防災の観点で
 理科

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
 ※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人の交流 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 3 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
 5 森の働き 地域の人の交流
 その他 ()
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他（もし、ありましたら記述をお願いします）
この5つも併せていいです、大切だと思います 学びの多さ
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

- 6-2 6 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を伝える授業時間が足りない
その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
いいえ はい
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人との交流 その他（もし、ありましたら記述をお願いします）
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
 はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

総合的学習 (学年は忘れました)
 森の活用とどう子どもに？ (昔の世代の)

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人の交流 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

- 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
 森の働き 地域の人の交流
 その他 ()

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他()

- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
 ※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他(もし、ありましたら記述をお願いします)

- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ

- 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他()

- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
 ※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人の交流 その他(もし、ありましたら記述をお願いします)

- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
 はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ

- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。
 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
 森の働き 地域の人の交流 その他()
 (7/2に 知、て、い、る、の、ど)

- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

4年生 階段、ピクトーブ木道作り

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えると、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 ()
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

・高野の環境学習、土壌生物の採集。(ツルグレン装置など)
 ・森の中で、秘密基地をつく。

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人との交流 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

大人が楽しく森で遊んでほしいので子供だけ見せて
 森で遊びたいと強く願っている。 森で大人が遊ぶイベントを
 いろいろやらないか。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

- 1 「学びの森」をご存じですか？
はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えると、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 開放等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
 安全性 開放等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 ()
- 5 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
はい いいえ
- 6-1 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
はい いいえ
- 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

4年 工造形遊びの単元、不同土壌もごっつぱい作り
他学年の造形遊びの単元でもいいわ。
1年、生活科、季節の変化と感性。紅葉が少なくなったが残念。たのしい
4年 系統的な学習「森について」

アンケート用紙

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の美しさ 森の働き
 地域の人の交流 その他 (もし、ありましたら記述をお願いします)
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

・森の中での遊び方。(学年に依りず)
・森の中は5ではの遊びだといいね。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他（もし、ありましたら配送お願いたします）
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
 その他（ ） はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。
 1,2年生の生活科において、自然の恵みを活用したおもちゃ作り。
 4年生：総合的な学習「加子母の山と川」
 3年生 社会「~~身~~くらしのつくりかた」…山仕事に肉付、
道具と
 理科：春みか、夏みかん、四季のつくりかたを観察（植物、生物）

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他（ ）
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人との交流 その他（もし、ありましたら配送お願いたします）
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。
 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
 森の働き 地域の人との交流
 その他（ ）

森の生き物調べや、昔の人達が、里山をどのように利用していたのか、話を聞くことができたら、いいかなと思う。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ その他（もし、ありましたら記入お願いします）
- 3 安全性 4 階段等の耐久性 1 子どもが感じるワクワク感 2 学びの多さ
 その他 ()
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
 はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

4年生
 間伐前後の学び。森を見比べて、よい森の条件や、その森を
 維持していくためのことについて考えた。

アンケート用紙

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き 地域の人との交流 その他（もし、ありましたら記入お願いします）
- 7 加子母の生き物や植物 3 加子母の林業や文化 2 自然の楽しさ
 5 森の働き 4 地域の人との交流
 その他 ()
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

ネイチャーゲームなど、子供たちが「楽しい」「またやりたい」と
 思うような活動をしていただけたらと思います。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
はい いいえ 2004年にできたとは知りません
で(下)
- 3 今後の「学びの森」を考えるうえで、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 (もし、ありましたら記入お願いします)

- 2 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 ()
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
はい いいえ

- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

植樹
4年生で一般教員が中心で... 学びの森では、
授業では、時には、
地域の活動で 福崎の森の散策をした

2019.4.4
共生きの森での
植樹

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
その他 () 4
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
はい いいえ

- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き
 地域の人との交流 その他 (もし、ありましたら記入お願いします)
- 7 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
4 森の働き 地域の人との交流 その他 ()

- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

一緒に自然に親しむ。
(生き物さがし、
名前を覚えてもらう)

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

アンケート用紙

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えると、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ その他（もし、ありましたら記入をお願いします）
- 安全性 階段等の耐久性 子どもが感じるワクワク感 学びの多さ
 その他 ()
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いますか？
 はい いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

4年 森の観察、
 森の健康診断。

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を伝える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
※例 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ 森の働き 地域の人との交流 その他（もし、ありましたら記入をお願いします）
- 加子母の生き物や植物 加子母の林業や文化 自然の楽しさ
 森の働き 地域の人との交流
 その他 ()
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

学びの森を通じ、自然に馴染むことはもちろんですが、地域の方、学生の方とかがやることで、学ぶことも多くなると思います。少人数の学校ゆえ、多くの方、多様な立場の方とかがやる場が確保できるといいと思います。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございます。

「学びの森」についてのアンケート

- 1 「学びの森」をご存じですか？
 はい
 いいえ
- 2 2004年に「学びの森」が環境教育を目的に設置されたのをご存じですか？
 はい
 いいえ
- 3 今後の「学びの森」を考えると、重視したいのは次のうちどれでしょうか？
 例に従って順番をつけてください。
※例 1 安全性 2 階段等の耐久性 3 子どもが感じるワクワク感 4 学びの多さ 5 その他（もし、ありましたら記入お願いします）
- 3 安全性 4 階段等の耐久性 1 子どもが感じるワクワク感 2 学びの多さ その他 ()
- 4 「学びの森」の維持管理活動やイベントに参加したいと思いませんか？
 はい
 いいえ
- 5 授業等で「学びの森」のような森を使ったこと、また使いたいと思ったことはありますか？
 はい
 いいえ
- 6-1 5 で「はい」と答えた方は、その授業内容と学年を具体的に教えてください。

5年、植物や魚のたんじゅんに関わる理科の学習をつながらせる
 いのがと 思い付く。

アンケート用紙

- 6-2 5 で「いいえ」と答えた方は、その理由を以下から1つお選びください。
 1. 使い方がわからない 2. 授業計画を立てる時間がない 3. 安全面が不安
 4. 教えるための知識がない 5. 学びの森を使える授業時間が足りない
 その他 ()
- 7 自然と触れ合える環境での子どもたちの学びは必要だと思いますか？
 はい
 いいえ
- 8 7 で「はい」と答えた方は、必要だと思う内容で重視したいものを教えてください。
 例に従って順番をつけてください。
※例 1 加子母の生き物や植物 2 加子母の林業や文化 3 自然の楽しさ 4 森の働き 5 地域の人の交流 6 その他（もし、ありましたら記入お願いします）
- 2 加子母の生き物や植物 4 加子母の林業や文化 7 自然の楽しさ
 3 森の働き 5 地域の人との交流 ()
 その他 ()
- 9 「学びの森」で、地域の方や大学生たちと協力したいことなどがあれば教えてください。

自然科学の事もいさや楽しめ、苦手な子でも
 興味をもてるようなプログラムを考えたし、一緒に
 体験したりする場を大切にしてほしいです。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

IX 加子母関係団体への聞き取り調査結果

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/10/12 15:00~15:40	聞き取り方法	加子母総合事務所
所属		聞き取り対象	
加子母村づくり協議会 /NPO 法人かしもむら		伊藤満広さん	

・加子母の現在の環境意識について

環境省に香り 100 選ってというのがあって、加子母のヒノキとササユリが出てきて、そういったところも絡めて、ササユリっていうのは昔はよく人が山に入って茅を刈ったりしてササユリがよく咲いていたけど、もう人が山に行かなくなって、茅もよく絡むもんでササユリが頭を出せなくなって、本当はササの中でも出せるんだけど、普通だと一緒に刈るからササユリが頭を出して可憐な花を咲かせるんだけど。下に種は落ちているだろうから、またササを刈れば咲くだろうから、(中島工務店)社長はふるさと林道っていう学校の上の、森の健康診断をしたところも含めてずっと草刈って杭を立てている。社長っていうのは中島紀于(のりお)さん、加子母村づくり協議会の会長。業者さんと呼んで草を刈ったりだとか自ら看板を立てたりだとか、杭を立てたりだとか、あそこをササユリ街道として。

ササユリっていうのも子どもたちにとってはピンと来ない、村の花ササユリっていうその定義がなくなっちゃってるし、ササユリ保護条例っていうのがあったくらいで、ササユリを保護しようっていうのが地域にとってはだんだん忘れられつつある。というのとヒノキっていうか林業っていうのは、結構関係性があったっていう、人が山に入って手入れしてたからササユリがよく生えていた。当然学校の先生はそんなこと知らないし、地域の人たちもちょっと薄らいで来てるし、ビオトープっていうか環境っていうのは、ほっといて守られていくっていうところと、手入れしないと守れないところがあるので、それを啓発っていうか。

・学びの森を使った教育活動の担い手について

おそらく、恵那こぶしの会(女性林業グループ)、今はコロナで活動できなくなってるけど子供たち向けの森林教室をやってたし、名工大と協力もしていた。

地域の人と山との関わりってことになると、例えば門松の作法、立て方だったり、縄の結び方、注連縄のことだったりとか、昔はちゃんとやっていたけど、今は地元の老人たちが最後で、知っているくらいなので、これも本当に風習が消えていっちゃうってなると、松も3本、3段、若松で立てるっていうのが本当やったけど、そういうのも少なくなってきたり、地域の風習っていうかそういうのも守っていくのも環境っていうか、環境のことに結びついてくることが多いので。正月になると門松に一般的には南天を添えてるんやけど、この辺では冬青(ソヨゴ)っていう冬でも緑の葉っぱを添えたりだとかそういう風習もあるので、そういうのをきちっと調査して残すのも大事ななっていう。ビオトープと合わせて地域の風習を学べると。風習とか地域行事、伝統行事と一緒にできるといいなっていうのを前から思っている。

田口達也さんとか安江健一くん富山大学の教授で阿寺断層のことを研究している人っていうのもあるかも。子供たちの動機っていうか、よくこぶしの会でも健一くんが登場してもらって加子母の地形の成り立ちのことだとか、子供たちが「えー」って思うような視点でいろいろ話してもらったりだとか、子供たちと一緒にワークショップをして阿寺断層を知ってもらう看板を作ったりだとか、そういうことをしていたので。

門松のことにしても、加子母やと他と違って、それが昔はどの家でもおこなわれたことで三ヶ日が終わるとそれを集めて左義長っていう、どんど焼きっていうかもしれないけど、各家庭で集めて山を作って真ん中に竹を立てて、そういう行事をしていたので、そういう子供た

聞き取り調査表

ちが門松を立てるのには松と冬青がいるんだとか、藁細工をしないかん、藁も注連縄用に使ってもらわないと加工できないっていうこととかも、だんだん忘れられていって、そういったところも残していきたいなっていう。環境と地域の風習、学校の先生に「環境」って言うと単にビオトープをどうしますかっていっても観察とかくらいになっちゃって、結局きっかけとか、そういうことに関連を。

大人たちもそういう経験値（地域の風習）がなくなってきた中で、ビオトープっていう専門的なところ、学校の先生にしてもそうやん、専門的な分野っていう風に捉えられちゃうけど、本当はそうじゃなくて大人や先生たちに動機づけができるといいよね。

地域全体が環境とかそういう要素で成り立っているっちゃうか、ただビオトープっていうあそこにあるだけの動植物じゃなくて、本当だったらもっと広い範囲にあって、そういうのもひっくるめて捉えられるともっと身近に考えられると思う。そういう視点でみると、あそこのビオトープももっと生きてくると思うし、環境とか風習のこととかに関心を持ってもらわないと、これを次につなげていかないといけないよねっていう意識、環境だと生き物のこととかに関心を持っていかない。加子母全体での連鎖の関係と、それを小さい子たちでも感じられるビオトープ内の連鎖の関係と、そこがリンクできると面白いなっていう。立派なビオトープを守っていく環境があったとしても、それは素晴らしいビオトープづくりの環境があったとしても、周りの土地の大事な環境が守られていないと意味がない。

その地域の環境を守っていくには、風習とかにも目を向けていかないといけないっていうことが、地域の自然を守ることに繋がって、ビオトープを守ることに繋がるんじゃないかっていう仮説あるんじゃないかなと思う。俺は文化の方が危機感があって、ここでちゃんと残していかないとやばいなっていう、もうだんだんとなくなっていっちゃうしさ、そういうことも子供たちに伝えていかないといけないんだけど、うちらもあまり知れていないよねっていうのがあって。だからビオトープをやっても地域全体では自信を持っていけないっていう、そういったつながりをまとめられると。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/08/18 15:00~15:35	聞き取り方法	Zoom
所属	中津川市立加子母小学校	聞き取り対象	田口先生

・ビオトープで藤岡研と一緒に活動した時の内容について

2年前に階段、木道を作ったり、チップを撒いたりした時の4年生の担任でした。

・現在のビオトープの使われ方

学校としては授業の中で、「春を探しに行こう」とか各季節ごとに理科や生活科の、そういうことで使うことはありますね。ただ、子供たちにとって、自由に行く場所ではないという認識ですので、運動場とは違うので、池とか危険なところがあるので授業でしか行かないですね。

「春を探しに行く」などは、自分が担任の時とかは、今年は私3年生の担任なんですけど、「春を探しに行こう」という理科の単元があるので、ビオトープのあたり（草はらと水辺のビオトープエリア）にトンボとかチョウチョがいますので、バッタもいましたけど、そういうのを探しに行って、何がいたとか、どういうところにいたよというのだとか、後、夏の生き物を探しに行こうといった時に見に行ったりとかはしますね。

草をどこまで刈っていいのかとか、あまり私たちも詳しく無いので、そんなに年に1回PTAでいろんなところを草刈りするんですけど、その時にあそこを重点区域としてやるとかはないですね。

ただ、満広さんが刈ってくださったりだとか、達也さんが普通の平日に来て下さって、草刈りをしてくれているのは見たことがあります。

モリアオガエルが卵を産むので、それを子供たちと見に行くこともあったんですが、やっぱり担任裁量だと思います。

4年生が森の勉強をしているので、「学びの森」とは別の森に健康な森とそうでない森の勉強をしに行くので、その前段階で行くことはあるかもしれません。

基本的に担任裁量だが、運動場に草むらなどはほとんどないので、春見つけや生き物探しでなんかでは、「学びの森」を使うことは多分、低学年は多いと思います。

ビオトープエリアは使うことがあると思いますが、森の方のエリアは4年生がちょっと見に行くことがあるかなぐらいだと思います。

使い方や管理、手入れはあまり詳しくはないというか、正直なところ。詳しい先生の異動なんかもあると思いますし、私はビオトープの方をよく昆虫とか生き物を見に行くんですが、それも担任裁量ですね。

・藤岡研のつくった過去の授業の事例集について

ごめんなさい、事例集についてはちょっとわからないですね。

今、それがあると聞いたので、私がそれを探してこういうのがありますと、誰か加子母小の教員が主導していかないといけませんね。いただいて校長なり教頭が保管はするんですけど、私たちも毎年担任が変わるので、持続的にこういう活用がありますっていうのをやるには、例えばですが、4月にこういう事例集があるので活用してくださいというメールを送って下さって、ああそうだったと、必ず4年生で活用してくださいとか。

4年生の森のことについては前の担任からこうだったからこうの方がいいということを申し送りを持っていくんですね。なので学校俯瞰というよりも、4年生なら4年生とターゲット

聞き取り調査表

トを決めてその事例集を申し送りしていくといいのかな。

私もいただいたことを聞いたかもしれないけど、担当という意識が無かったので、これを次の人が確実に活用するには、何年生が1回は活用しましょうという風にするのが、持続性があるかなと思います。

・維持管理について

子供たちに維持管理を手伝ってもらうということについては、可能性としては4年生なのかなと思うけど、森とかを勉強していくので、NPOの方と一緒に、担任と子供たちだけではやっぱり大変なので、期日を連絡を取り合ってやることは可能なかなと思います。ただ、いろんな行事の精選もありますので、私の一存ではわかりません。

それも大切ですよね、今も大階段の模型を飾ってるんですけど、そういう作り出すことも大事だし、ビオトープの場所を継続していく活動も確かに大事ですよ。

・休憩時間での活用について

学校に一旦入ってからは、駐車場へ降りて行かないと行けないので授業中に担任と一緒に行くことはありますが、自由に行ける場所にはなっていないのでそれがまた子供たちにとって馴染みが薄くなる原因でしょう。

目が届かない、死角になっているので、職員室や運動場から。休憩時間に教員が運動場に出ることはあるんですが、運動場からも死角になっているので、本当について行って授業中って感じですね。休憩時間中に自由って言うのはやっぱり怖いですね、水の流れるところもありますし。

放課後はバスで帰るので、うちの学校は珍しく、ほとんどないです。

・地域の方の利用について

あまりは見かけないです。小学校、中学校の近くに人家があまり無く、気楽に来るという場所でもないで、地域の方が来るっていうのはあまり見ないですね。

ただ、階段を作った時には、階段を作った子供たちが親御さんを連れてきたっていうのは聞きました。やっぱり自分がやったという思いがあったら、親御さんを連れてこれ作ったんよとかって話のきっかけにしますね。

・「学びの森」を使った地域交流について

ないですね。

私、今年の夏休みに地域の集まりでふれあいの館の周りを、県のネイチャーリングの役をやっていらっしゃる方が来て下さって、葉っぱとかいろんなことの説明をしながらぐるっと周ったことがあって。私は加子母に長いこと住んでいるんですけど、元々は違うんですけど、そういう地域のに参加して、長いこと住んでいても、知らない自然のこと、コブシの葉が落ちたら茶色になってメープルの匂いがするとか、そういうことを教えていただいて、そういった方に「学びの森」を使っただけのほうがいいかなと思いますね。

聞き取り調査表

・「学びの森」の管理について

管理は学校じゃないと思うんです、地域の方、加子母村でやって下さってる。加子母小学校って体育館も運動場も、学校のものっていうより地域のものっていうので、そうやって考えると「学びの森」も地域のものとして活用されるといいなと思います。そこにはもし参加するなら4年生かななんていいましたけど、4年生って森のことを勉強するんですけど、すぐ森林組合の方に協力していただいています。森林組合が手入れしている森を案内してもらったりしていて、なのでそういうところも繋がれるといいんでしょうね。

やっぱり加子母の子でも森のことはあまりわかっていないんですね、家に山があっても山に行かないですからね。我が家も多分山はあるんですけど、自分の家の山がどこにあるか知らないんです。それは加子母でもそういう家が増えていると思います。だから森林組合の方が色々やって下さっている。子供たちが子供の頃に加子母の山のことを勉強するのは大事だと思います。それをこうやって外部の方に手伝ってもらわないといけないというのは、残念な気がするんですけど。

・地域の方が主導でやることについて

理想だとは思いますが、でも、誰が主にやるか、どこが主にやるかっていうのが難しいところですね。加子母は地域力があるところだと思うんですけど、ただ学校が言うから地域が動くのではなく、地域の方が加子母の林業とか山を守るために学校を巻き込んでやるっていうのが理想なのかなと思います。今は、加子母は教育の日で地域の方に来てもらって色々勉強したりもしています。ただ、それと関わらせて森林とかビオトープを手入れするっていうことは今までやっていないですね、持続させることについては。どちらかというとな実際に近くの森に行って様子を知るとかはやっていますけど、手入れをすとかそういうことまでは手が回っていないというのが現実ですね。

・これからつなげていくことについて

どう続けるか、つなげるかというのが難しいところはありますね、なので学校として4年生担任も替わっていくので、今年こういうところが良く無かったので来年はこうしようとか、それこそ来年も同じ人が担任とかだとできるんでしょうけど、なかなかそうならないので。私も加子母に住んでいるので、子供たちに加子母のことを好きになって欲しいし、加子母の山を大事に守っていかなあかんと思って欲しいなと思います。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/08 13:00~14:30	聞き取り場所	加子母 ふれあいの館
所属	恵那こぶしの会	聞き取り対象	副会長 岡崎史子さん

①加子母の子供たちに対する環境教育について

・どのような想いで活動されてきたのか

今の子って林業を知らないよね。おじちゃん世代は昔は木を伐ってそれを売って生活していたから、木が生活の身近にあったから知っている。だからちょっとでも山とか木に触れる企画のために、年に2回森林教室をしました。内容は年によって違って、ホテルの勉強をしたりとかじゃんじゃんや木登り体験を田口ひろしさんたちに協力してもらったり、その時が1番子供たちも盛り上がっていたよね。けどやっぱりだんだん会員もだんだん年取っていくもので、安心面が不安で、そういう人たちを呼ばないとできない。後、川遊びもやったね。館のすぐ近くで川において浮き輪とかを使って。親が心配させないところもあるけど、そういう企画があると、見てくれる人もいるから安心してできるってことがあって。少しでも地元のことを知ったりとかしてもらえるといいかなって思う。安江先生に阿寺断層の話してもらったり現場に連れて行ってもらったり、結構そういうこともしたな。コロナになってそういうことを全然しなくなっちゃったから、もうすっかり忘れちゃった。そういう地元のことを知ってもらえる勉強会が多かったな。

昔は木の値段がすごい良くて、子供が大学行くとか結婚するとかっていうと、まとまって自分のところの木を伐ってトラックいっぱいになると何百万とかになって、そういう生活をしてたけど、今はもう伐ってもらっても運賃を払わないといけなくらいで。後、子供も忙しくなる、小学生になると習い事、空手とかサッカーとか野球とか土日はそういうのに行くっていうのも山に行かない要因だと思う。うちにも男の子がいるけど、自分のところの山がどこにあるか知らないし、そういうのの積み重ねでどんどん知らなくなっていくって思う。

今でも薪ボイラーで、お風呂を炊くところがあるけど、そういうところは山で木を伐ってそこに置いて冬になったら持ってきて使うとか、家の周りの垣根、雑木とかを剪定した枝とかを軽トラで自分の山に捨てに行く人もいるね。自然の物やし、自分のところなら良いかっていうので使っているね。

昔は植林で金になる木(ヒノキやスギ)をじゃんじゃん植えてたけど、お父さん(旦那さん)に言わせると、もうちょっと広葉樹の複合林やといいなって、うちの父親はじゃんじゃん植えてた側だから。

・今後の活動はどのようにされていくのか

今はこぶしの会も高齢化していて人数が少なくなっちゃって、今は15人くらい。年齢は40~80代で若い人たちは外から入ってきた人たちでその人たちが入ってくれていいなあとと思っているけど、意外と地元が少ないね。ここで生まれて育ってというのは私1人くらい。後は隣村からお嫁に来てとか。若い人は本間希代子さん、絵を描いてくれている人とか、田中さん、野菜を売って生活している人とか、外から来た人はやっぱり加子母を見て木を大事にしなきゃ行かんっていう気持ちすごい。外から来た人の方が気がつくことが多い。もう1人吉川さんっていう人は名古屋から移住してみえて、なんで加子母に来たのって聞くと「何

聞き取り調査表

にもないから、それが良くて来た」って、それで今は加子母に住んでいる。今会長の寿美さん（梅田寿美さん）のところは山が多いの。それで息子さんも林業に携わって、それで生活してらっしゃるの。加子母でも本当に大きい林業なの。

コロナ中は木匠塾の郷土料理体験で朴葉寿司を学生と一緒に作ったり、トヨタ紡織が植林のイベントで来た時に郷土料理を作って届けて親睦を深めたりとか、やけど数は少なかったね。子供と関わるっていうのはなかったね、森林教室自体がなかったから。この時期は里芋ができるから大体いももちと豚汁で、夏やと朴葉寿司やね。コロナ前はトヨタ紡織とか市民の森（名古屋市民の森）で豚汁を振る舞ったり。

今後も森林教室は続けていきたいけど、どういう形でできるのかもわからないし、林業女性部も岐阜県内にもっとあったけど半分くらいになっちゃって、昔は助成金もあったけど今はほとんど個別でやってるような感じやけど。後、やっぱり高齢化と、若い人が子育ての時期で平日は仕事をしないといけなくて、土日も子供の習い事で送り迎えをしないといけなくて、忙しくてなかなか活動できなくて、そこがこれから先、不安なところ。

高齢化もそうだけど、コロナで一段とそれが増して、2年間休んだことによって気持ちが沈んじゃったのも大きいね。

②「学びの森」について

・ご存知かどうか

名前は知っていたけど、このエリアのことと結びついていなかった。ビオトープエリアは知っていたけど、学校林・里山林エリアは個人の山かなと思っていた。

・これまでに使ったことがあるかどうか

こぶしの会では使っていないね。

同級生で、個人の集まりとしてハイキングなんかをするグループがあるんだけど、林道からハイキングをして、東屋を休憩に使ったりすることはあった。でも少ないかもね。中島工務店の山小屋辺りを降りていくとワラビがあって、春はそのワラビを採ってくるっていうコースで、秋は色々なコースを巡っている。

・今後使いたいと思うかどうか

作っても朽ちていくのは悲しいよね。こういうことを知らない人が多い。ここが学びの森で、こういう道があって、ここでモリアオガエルが見れてっていうことを。それこそ散歩コースじゃないけど、そんな感じで、散歩コースの1つみたいに行けると。何か見所を説明できる何か欲しいよね。あれば何かの時にこのコースを行ってみようかってなると思う。こぶしもね、うまいこと森林教室を再開できれば、こういうグラウンド（場所）があればね。年配の方はいろんなことを知っているからね、この木はよく曲がるからあれに使ってとか。うちの父親が亡くなった時、山の仕事とが行ったからいろんな知恵を知ったんやけ

聞き取り調査表

ど、その半分も聞いてなかったなと思って。体験に行っただけにそれに付随するものを吸収することも多いよね。

・今後の維持管理や活用についてのご意見

みんなに知ってもらうことが大事だね。

何か説明がその場にあるといいよね。モリアオガエルがここで見えますとか、ハッチョウトンボも何月ごろに飛びますとか、何かちょっと説明があると楽しく見れる。散歩コースみたいに説明できるといいよね。

学びの森という名前も、場所の情報がないから名前だけじゃわからないのもあるかもね。

・その他

今、館の裏にアキグミが、5mm ぐらいの赤色の実が鈴生りにできているね。加子母ではアキグミは初めて見たけど、シブグミという夏頃に見かけるもう少し大きく食べられる物はよく見る。館の裏にあるってことは誰かが植えたのかなと思っているので、もしかしたら加子母にとっては外来種かもしれないね。でもすごく根付いているから加子母の風土があったんだろうね。生で食べると少し渋くて鳥も食べない。シブグミは赤になると甘くなるよ。トヨタ紡織の森にも多分グミの木の看板を見かけたから、植っていると思う。ヒノキやスギだけじゃなくて、広葉樹もある複合の方がいいから植えられたのかなと思っている。実の食べられるものの方が面白いよね。

いももちは、秋になると新米が取れて、今までの米が古米になるからそれを使って作るっていう。でももっともって昔はくず米っていう、綺麗に精米できないお米しか取れない時には、里芋で傘増しして作ったっていうのが元の由来だね。

アキグミのジャムは少し酸味があって少しトマトに似ていた。

11月ごろ、今はもう落ちちゃってると思うけど、学びの森の上の道脇にムカゴっていうヤマモの蔓が上に出てきて所々に丸いのがついていて、それをご飯に入れて炊いてムカゴご飯にしたり、濃い灰色で中はヤマモになっているのね。私も初めて食べて、ご飯に入れて炊いてもいいし煮物にしてもいい。私も知らなかったし、子供たちは尚更知らないだろうし。そういうのも知ってほしいよね。

こういうプレートはありがたいね。ちょっと山行っただけで、この木なんやろって思ってもわからないままになって。福崎の森にもあるといいよね。

この間のハイキングは舞台の前で集まって、ずっと川沿いに歩いて行って、中学校まで上がって、グループの中の1人の実家でお昼を食べさせてもらって引き返してきた。上に上がる道がないところに出ちゃって、この前は無理矢理に上がって行ったね。近道だと思ったら道がなくて。みんな農業をしているからね、なんとか健康だね。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/17 21:00~22:00	聞き取り場所	加子母 ふれあいの館
所属		聞き取り対象	
加子母木匠塾		総幹事 鈴鹿裕子さん 副総幹事 今中優佑さん 副総幹事 杉本伊央理さん 会計 西條陸希さん	

・木匠の現在の活動

8 大学（京都造形芸術・京都工業繊維・京都・立命館・滋賀県立・名城・東洋・金沢工業）
在籍 402 人

合宿参加者 150 人以上

各大学ごとの活動もあるが、加子母木匠全体としては合宿期間中に各大学の設計をもとに
8 つのイスを制作した。

活動頻度は、幹事会は月 1 回、総幹事・副総幹事は加子母のイベントなどによく参加するため
頻繁に加子母に来訪する。

・木育のイメージ

（今中くん）

最初の木に触れるところから

木を触ったり感じたりするところから、森とかを学ぶ入り口のところからが木育だと思う。

（鈴鹿さん）

森を伐採したり植林するイメージが強い。なんとなく自分たちが木に触れて何かを学ぶとい
うよりは、自分たちで森に手を加えたりするイメージ、木を育てるようなイメージです。

（西條くん）

木を育てるイメージ、木に関与するっていうイメージです。

（杉本くん）

木の流通というか伐採して加工されて、それで作ってっていう過程を知るのも大事ななと思
います。

・これまでの木匠塾の木育について

（鈴鹿さん）

過去にはイベント的に間伐体験をさせてもらうとかはあったって聞いてます。

（今中くん）

2 次産業とかに関わるところも体験させてもらったりしました。

（杉本くん）

でも、結局サマースクールでイベントの一環でおこなうって感じな気もします。結局、僕ら
の知っている年代では加工がメインで、伐採体験とかは 1 回きりのイベントっていう感じ。

（今中くん）

イベント的っていうよりは、伊藤さんとか内木さんが何気なく、常に喋り続けて、しれっ
と木育しているイメージがあります。気づかいうちに木育をしている気がします。

・木匠でこれからやっていきたいと考えている木育について

（鈴鹿さん）

自分は、木匠に入ったきっかけが加工とか作ることがメインで入ってきて、こんな田舎やと
思ってなかったっていうのが正直なところなんですけど、そこで実際に木を育ててる人がい
て、その木を伐って、加子母やとそれを無駄なく使って、皮まで使ったりとかを見て、やっ

聞き取り調査表

ぱりそれを学ぶべきなのかなと自分は思って、今、制作物で角材を当たり前のように105角とか120角がって言っているけど、それを使う前のところをもっと知った方がいいのかなってというのが1番あって、「もりづくりプロジェクト」も最終的にはサイクルが、つくって育ててっていうのが1番ベストやと思いますし、それが加子母の人たちがしていることと似ている、同じサイクルが木匠内でできたら、すごく近いことができていると思うので、それを実際にしている人たちのもとの教えてもらえるっていうのは、すごくいい経験になるなってというのがあって、自分は「木育をしていきたい」っていうのはそういう意味で言ってます。

(西條くん)

個人的に自分が学びたいこととかやりたいことは、単純に木を育てて伐採してみるとかだったり、木材の知識を知ってそれが将来に生きてくる、自分は施工管理なんですけど、そういう現場でも知ってた知識でいろいろ気づくことってあると思うんで、そういう木材の知識と実際に育てて伐採して材になるまでの加工もやってみたい、いろいろ体験してみたいっていうのが、自分がやってみたいことですね。

(杉本くん)

僕は体験を通じて森のことを知るっていうのもそうなんですけど、まず自分たちが知らなかったっていうことを認識するところからなのかなっていうのを、知らないことを認識できるところから初めて、例えばこの前の幹事会の時に、植林っていうイメージが、何か既存の何かがあってそれをぼんっと植えるのかなっていうイメージだったんですけど、実際には実生の苗を採って行ってっていう体験を通じて、こんな小さなところから始まるんやなっていう、今まで大きい、木が生えているところしか見ていないから、そういう一面を知ってこうやって木って始まっていくやっていうのを、僕らの代でも知っていくことで、それを次の代とかにも伝えていけたら、長い目で見ての木育になるのかなっていう。

(今中くん)

「もりづくりプロジェクト」のゴールっていうのは、サマースクールの制作物っていうか木匠塾があるプロジェクトの質を高めることにつながってくるっていうのと、木匠塾のメンバーも知識を得て活かせるような、その人自身の成長につながることです。教育っていうかこっちから教えるっていうのは、どっちかっていうとゴールっていうか、いろいろ教えてもらった、もらうことへのお返しで、何かできることがあればみたいな感じですね。

つくるだけではなく、その周囲、木の始まりから知っていかないといけない

・子どもたちとの関わりについて

(西條くん)

自分らが思っている木育は、まず木材の知識を知るところなんですけど、小学生たちに教えるっていうのはまた違うジャンル、地域交流っていうジャンルとして捉えていくのかなっていう。

(今中くん)

例えば制作物をつくるプロジェクトの一環で、使う材を自分たちで伐採するとか、自分たち

聞き取り調査表

で使う材の流れの一連をやるんですけど、それは子どもたちに教えるために自分たちも勉強しないとイケないなっていうのもあって、子どもたちに教えることで学ぶ過程があると思うんで、そういうところでは間接的に学ぶことが絶対にあると思うんで、自分たちが答えられるように、「この木どっち？」みたいな。

(鈴鹿さん)

自分たちがもともと木育とは別で、木匠塾としては加子母の人に言われてるのは、木匠塾生の年代の子がいないんですよ。なのでその年代の子たちと自分の子供を関わらせたいっていうのを言ってくださっている方もいて、加子母にいない年代の部分に木匠塾がうまいこと入り込めていたら自分たちはいいのかなっていう風に考えて、そこももちろんあるし、子どもと交流するっていうのは1番子どもが純粋な目で見てるっていうか、自分たちも知らなかったことに気づけるし、子どもに接する時って同い年に接する時より考えることがだいぶ違う、説明の仕方とか子どもの目線で考える事が、結局は自分たちにとっても、今までやってきたことを振り返ってまた出してっていうことになると思うので、そういう意味ではどっちかに対して損得があるっていう関係ではないと思いますね。

(西條くん)

自分は単純にちっちゃい子が好きなんで、とりあえず、地域との交流って面でちっちゃい子たちと関わることが、昔木匠塾でもあったみたいなんで、もう1回それができたら自分としても楽しみが1つ増えるなっていう思いで考えてます。ただ楽しみたい。

懸念点は、今何も始まっていない状況で、結局は話してたことは理想だと思うんですよ。だからまず50年後に自分たちがこれから植えようとしている木を植えたとして、50年後に使えるかっていうと本当に全くわからないんで、それが懸念点ですね。理想論をどう実現させていくかっていう。

(杉本くん)

子どもとのつながりでいうと、木匠が昔やってたことでいうと、本当に寺子屋みたいに松屋で教えて、算数とか小学生の勉強を、そういうところで何か教えたりしてあげるっていう、ここに僕らの世代がないから体験できないことを体験させてあげられるようにすることも、長い目で見ると木匠世がここにくる事が当たり前っていう風になるといいなっていうのがあって。

懸念点はまだ何も始まっていないから、やってみないと、始まってからじゃないとわからないっていうのがありますね。

(今中くん)

僕は大阪の高槻出身なんですけど、山がある暮らしっていうのは全くなくて、日本の山、っていうか自然も全然知らないし、加子母の山の特色みたいなのも全然知らなくて、結構いいなと思ってます、文化とか。だから小学校のみんなには知ってほしいっていうか、強みを、ずっとここにいたらわかんないと思うけど、外から来た僕からしたらめっちゃくちゃいい文化でいいところなので、そこをわかってほしいっていうか自分のものにしてほしいって思って。やっぱ、小学校って先生からいろいろ教えられるじゃないですか、でも「ふーん」って感じじゃないですか。それを僕らから違う視点を持って、いいんだよって、楽しみながら僕らも知って学ばせてもらいながら、加子母の文化を知っていただけたいかなって思います。

聞き取り調査表

(鈴鹿さん)

子どもが関わると計画を立てるのが難しそうというのがあって、教育機関、学校関係とかって、制作物をつくるのもめっちゃくちゃ時間かかるんですよ。だから何かするってなった時に、時間がかかってしまうのかなってというのは思っています。

・必要な資料や情報

(今中くん)

今計画段階なので、次に小学校に打ち合わせしに行くから内容とスケジュールと内容とか、それ1つに対するスケジュールとか、準備時間がどれくらいで、実施期間がいつぐらいが望ましいのかとか、そういうのがあると組みやすいのかなって。

今年いきなり新しいことをやるっていうよりかは、これまで名工大がやっていた活動を僕らでもやってみて、関係性を持つっていうのが大事かなと、信頼を得ないといけないので。なので名工大のこれまでにやってきたセオリーみたいなのを知れたらいいかなって思っています。

とりあえずこれくらいかなって思ったのは、授業をやる、レクチャー的なのをやるっていうのと、学びの森に入って探索的な事がやれるかなって思ってて、1番理想は、何か一緒に制作物をつくるってなるんかなって、それで学びの森に置くベンチとかをつくるのは、できたらいいなって思ってます。学びの森を木匠塾で埋め尽くすくらいできるといいなって。

(鈴鹿さん)

同じように思っていて、加子母教育の日みたいな、加子母教育の日って加子母の人たちが先生になっているじゃないですか、それを木匠生がその立場でできる機会があればなって、教育の日とは別でできる機会があれば、この時期になったら大学生と会えるみたいなのが定期的に根付いていければ1番、その中で一緒に制作物をつくるか明確な何かがあって、夏絶対こういう事ができるっていうところまでいけば1番いいかなって。

(杉本くん)

制作物関連でいうと、最初はベンチつくりノコギリでっていうところよりかは、へぎ板とか端材とかで作れる小さいものでも、子どもたちって工作好きやと思うから、そういうのをやるってだけでも、子どもたちとつながれるし、工作を見守っている中で、こうしたらいいとかって大学生とのつながりもつくれるし、端材とかへぎ板を使ってそういうこともできるのかなって。

(西條くん)

もちろん一緒につくれたりするのが、そうするとは思ってたんですけど、その中で関わって喋って戯れあってっていうのができたらいいなって思ってて。

聞き取り調査表

聞き取り日時	2022/12/16 11:00~12:00	聞き取り場所	日下部さんの自宅
所属		聞き取り対象	
加子母 地域住民		日下部さん	

・写真について

村全体を、里山を、俺たちが小さい時は全部遊び場、例えば4年生5年生の時は小学校に歩いて通って、帰りの時は決められた道と別の道で帰って、秋になると2~3時間かけて帰ってた。その時にアケビを採ったり盗んだり、柿を盗んだり、で学校の先生に次の日に詰められて、呼び出されたり。ある時は、1週間にどれくらいあったかな、全校生徒が集められた時に、「日下部まさき、前に出て来い」って、みんなの前で怒られた事が何度もある。うちに5~6時に帰るまでには腹が空くし、あるものは全部食べてこうってことで。軒先に吊るしてある柿は、大体石を投げたり棒で突いたりそういう悪いことをして。それでも大人はあまり咎めなかった。村全体が俺たちの遊び場の、生活のエリア。だから今ここだけになったのは、他のところがそういう遊び場とかに使えなくなった。なぜかという人が少なくなって、スクールバスができた。うちも孫がいるけど、300m先に北分校ってところがあってそこに夕方は迎えに行くの。そうすると地域の人たちとのつながりってものがなくなったし、地域っていう、ここがどういうところかっていうのを全然知らないの。俺たちの時は秋になるとどこに柿があって、どこにグミがあったりアケビがあったり、どこで魚が泳いでいたり、捕まえたりして、まあその場で食うとかじゃなかったけども、捕まえて遊ぶ。ここ全体が、加子母中、通学路が遊び場でどこで柿がぶら下げてあるって。それで電柱に碍子(がいし)っていう電線と電線を繋いでる絶縁体のやつ、その中にイオウ？が入っててそれが欲しい、欲しいっていうか、持っている、また別の話するけど石を投げてそれを割ると、なかなか難しいのよ、で当時マッチとかがなくて、囲炉裏に火が起こしてあってそのイオウ？をつけるとポウッと燃えた。そんなこともあったり、イオウ？が燃えると匂いがして、それがまた良くて、ガソリンの匂いも良くて、車が来ると。今はダメやけど。そんな生活で、遊び場っていうか生活がぐっと狭くなって、だから結果こういうところを作ってくれるようになった。人口が少なくなって、子どもが少なくなって、皆さんが外に出るようになって、百姓をやる人が少なくなって、なる人がいても機械化で外に出る時間が短くなって、以前は田植えでも稲刈りでも田んぼにいる時間が長かった。まだ12月になっても畑にいろいろあって、いる時間が長かったけど、いろいろ短くなった。短くなるとどうなるかっていうと、なかなか人に会わなくなる。で外に行く。で田んぼが荒れたり畑が荒れたり、それはなんでかっていうと生産性がなくなった。だからどこかに糧を求めるようになった。以前と比べると子供も下宿させなあかんし。すみかにしてた生き物も、こういう構造改善、圃場整備で、いなくなって遊び相手がなくなった。

魚の話

春先になるとメダカがいたり、カニがいると草の先にエサをつけて引っ張る。カニやメダカはどこにでもいた。

(写真を見ながら)小谷、小さい谷にいた。西谷(ニシンタニ)、こういうところに注いでいる谷がちょこちょこあって、ここには湧き水がある。今も水車があるところ。この付近の谷、全体に、あっちこっちにあったワサビ田みたいな、3つくらいに分かれていて、水が溜まっていた。あまり利用はされていなかった。ここにも田んぼがあったけど、あまり採れなかった。大雑把ですよ。これが西谷、遊び場はこの辺で、ユウモリ(イモリのこと)、この言

聞き取り調査表

い方で。谷の上に今のところを作って。もしかしたらこれが本当の西谷かも。この付近がユウモリが多かったですね。こいつらを捕まえて遊んでた、腹の赤いやつね。これが昔のサクドウ、簡単に話すと坂下の方から架線で中継して。どこに作ったんやったか、、ダムを作るための中継点がここにある。3~4m くらいの深さの土台になったところに水が溜まっていてそこに魚が住み着いて、魚釣りに行った。こんな小さい、俺たちはアブラって言うけど、なんて言うかな、アブラハヤ。それで荷物を運んで、ここが中継地点で下呂とか萩原とかに運んだ。めっちゃ長いリフトみたいな。うちの親父が大正生まれで、ダムを作りに行く時に、ここで荷物を乗せて。そういうでかい塔があって、人も1~2人乗って行ってた。そこで親父が行く時もここで荷物を乗せて、運んでもらってた。そこの下に水が溜まっていて、魚を獲っていた。そこも湿地ですね、水が多かった。当時の俺たちの遊びはこの谷を使って、夏には魚を獲って、秋には鳥を獲ったり。ここの谷はセノジマ(地名)の付近で一緒になっている。そこからアジメが登ってきている。アジメを捕まえたりしてた。アユも見ました。水がまだ豊富な気がしたなあ、今よりも多かった。後、魚は今のアブラとアマゴ、ザッコ(ヨシノボリ)、アカネギ、チチカブ。チチカブはこっちの方まで来とったかな? 来とったかもしれんな。イワナもおったな。イワナは俺たちはソウタケって呼んでたな。ウグイはこの谷にはいなかったな。魚はこんなところ。全部この谷辺りで獲れた。ここに阿寺断層があって、阿寺断層が元になってここに西谷も乳児の池が水源になっている。

加子母の由来について(日下部さん説)

俺んとこは日下部って言うんやけど、日下部がこの付近に多い。この小郷から小和地で10軒か10何軒ある。それは飛騨で俺の先祖が悪いことして逃げてきた。逃げてきて舞台峠を越えてそこに隠れた。そしたら「ここに綺麗な水があるな」、「そしたらここに住むか」って住む。それでその連中、もしかたらそうじゃないのもいるかもしれんけど、この付近から見て南に位置がある。だから川下、かわしも、かしも、加子母、ってのが加子母の名付けは日下部かも知れん。この話を後20~30年すると本当になるかもしれん。この話も昔役場におった頃に、大杉に池があってその池の水を飲ませる子どもが育った。それで川下、かわしも、かしも、加子母の加子母は子どもに母を加えるに結びつけて、大杉地藏尊でお祈りすると子どもができた、大体そこらへんで母、子どもっていう話ができ、日下部がここに逃げて来てっていう。後20~30年この話をして。三浦(みうれ)っていうのもここら辺に多くて、この奥に、大滝村から交流があって、あの人らがつけたかも知れんけど、あの人たちは俺みたいに物申すことないから、日下部が加子母の名をつけた初めての人って、これから子どもに言っていこうかなって。

鳥の話

秋になると渡り鳥がたくさん来る。今は少ないけど、アトリという小鳥が群れで来る。そしてヒワ、ツグミ、ヒトト(ホオジロ)、イスカ、キレンジャク、その辺が俺たちの対象の鳥なんです。それを獲る、まあスズメも獲ってたけど。まずひとつの獲り方はトリモチって言って、トリモチの木、ヤマグルマとも言う。俺たちはモチの木って言う。あれを夏のうちに木の皮を向いて、槌でついて、繊維だけ水の中で取り除いて、トリモチになるような所だけ残

聞き取り調査表

して、10月ごろまでに作る。そのモチを木の先に付けてその下に罠をつけると、友を呼んで、やってきた鳥がモチに触ってひっかかって、それを獲ってその場で食ったり、うちに持ってきたり、正月のご馳走になったり、麴で漬けたりして、最高のご馳走やった。美味かったよ。もうひとつはタテヌリ、木の上に立てるからそう言う、それからもうひとつはサワヌリって言って、サワって山の沢、水の流れる沢に、1本にトリモチをつけて、水たまりのところに置くの。そうすると水を飲みに来て引っかかるの。もうひとつ僕がやっていたのは霞網、それはこの里山に1mくらい全部木を刈り払って、細い糸の網、霞網を張って1日に2~3度見に行くと掛かっているの、小さい鳥が、それを捕まえた。鳥の獲り方はその3つくらいかな。中には目籠で捕まえたりなんかも。コブチ(クビチ?)という獲り方もしてた。全部食うために獲ってた。食いは、釜戸で焼いたりして食べてた。そんなのが構造改善の前の遊びやった。鳥は構造改善とかじゃなくて法律であかんくなったんやけど。このタテヌリは、俺たち学校に行く前に4時頃に起きてこの山に行って、立てて、作っというて、7時頃に飛び降りて学校に行って、またコンディションのいい時に行って。あまり獲れなかったけどね。でも獲れた人はだいぶ獲れとった。大人もそういうことしてた。本当に美味かった。霞網はこころ辺、岐阜の東濃はメッカやった。